

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
<b>バレエ&amp;ダンス</b>			
ウィーン国立バレエ2018『ペール・ギュント』	3,4,5,7,8,9	クルーグによるバレエ化によって、北欧の名作がイマジネーションの飛翔する舞台に！個性豊かな名門・ウィーン国立バレエのダンサーたちがもたらす高揚と余韻	[出演] ヤコブ・フェイフェリック (ペール・ギュント) アリーチェ・フィレンツェ (ソルヴェイグ) イーノ・ベシー (死神) ジョルト・トロク (鹿) フランツィスカ・ヴァルナー＝ホリネク (オーゼ) イオアンナ・アヴラアム (イングリッド) ニキーシャ・フォゴ (緑の髪の娘) イザベラ・ルチア・セヴェリ (ヘルガ) ウラジミール・シシヨフ (アスラク) イゴール・ミロシュ (マツ) セリーヌ・ジャヌー・ヴェーバー (アネトラ) アンドラーシュ・ルカーチ (医者) ウィーン国立バレエ [振付・台本] エドワード・クルーグ [原作] ヘンリック・イブセンの詩劇『ペール・ギュント』 [音楽] エドヴァルド・グリーグ [装置] マルコ・ヤベルイ [照明] トマシュ・プレムズル [衣裳] レオ・キュラス [指揮] サイモン・ヒューイット [演奏] ウィーン国立歌劇場管弦楽団、滝澤志乃 (ピアノ) [収録] 2018年 ウィーン国立歌劇場 [映像監督] バラージュ・デルボ ■ 約1時間54分
キューバ国立バレエ2007『ドン・キホーテ』	24,25,26,28,29,30	スペイン的な快活さに、キューバの優れたダンサーたちの身体能力の高さと南米ラテンの愉悅がプラスされた名舞台。娯楽バレエの真髄がここに！	[出演] ビエンゲイ・バルデス (キトリ) ロメル・フロメタ (バジル) ダイロン・ベラ (ドン・キホーテ) ハビエル・サンチェス (サンチョ・パンサ) フェリックス・ロドリゲス (ロレンソ) エルネスト・ディアス (ガマーシュ) サダイセ・アレンシビア (メルセデス) ミゲランヘル・ブランコ (エスパルダ) タラス・ドミトロ&アンニア・イダルゴ (ロマの男女) ジャネラ・ピニエーラ (ドリアードの女王) アイマラ・パサーリョ (キュービッド) キューバ国立バレエ団 [振付] アリシア・アロンソ [オリジナル振付] マリウス・プティバ、アレクサンドル・ゴルスキー [音楽] ルートヴィヒ・ミンクス [脚色・装置・衣裳] サルバドル・フェルナンデス [照明] ルディ・アルティレス [指揮] ジョヴァンニ・ドゥアルテ [演奏] ハバナ大劇場管弦楽団 [収録] 2007年7月24日 グラン・バレ (パリ) [映像監督] デニス・カイオツツィ ■ 全3幕：約1時間39分
シュレプファー & バレエ・アム・ライン『白鳥の湖』	6	次期ウィーン国立バレエ芸術監督マーティン・シュレプファー振付の衝撃の舞台！オデットの継母と祖父の対決！果たしてオデットとジークフリートの運命は如何に？	[出演] マルコス・メンハ (ジークフリート) マルルシア・ド・アマラル (オデット) ホ・ヨンスン (オデットの継母) ソニー・ロクシン (ロットバルト) ヴァーჯニア・セガーラ・ヴィダル (ジークフリートの母) チドジー・ンゼレム (武部長) アレクサンドレ・シモエス (ペンノ) カミール・アンドリオ (オディール) ポリス・ランドツィオ (オデットの祖父) 加藤優子、キム・ソヨン、中ノ目知章、エリック・ホワイト (継母の側近) バレエ・アム・ライン [振付] マーティン・シュレプファー [音楽] ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー：バレエ『白鳥の湖』 Op.20 [オリジナル台本] ウラディーミル・ベギチェフ&ワシリー・ゲルツァー [装置 & 衣裳] フローリアン・エッティ [照明] シュテファン・ホリガー [ドラマトルギー] アンヌ・ド・パコ [指揮] アクセル・コーバー [演奏] デュッセルドルフ交響楽団 [収録] 2018年 デュッセルドルフ歌劇場 (ドイツ) [映像監督] ベーター・シェーンホーファー ■ 全4幕：2時間20分 (番組枠)
ノーザン・バレエ『ジョージ・オーウェルの1984』	10,11,12,14,15,16	名作古典SFがバレエ化！今話題の振付師ジョナサン・ワトキンスとノーザン・バレエによる、演劇とバレエの融合が現代のリアルを描き出す。	[出演] トビアス・パトレイ (ウィンストン・スミス) マーサ・リーボルト (ジュリア) ジャヴィア・トレス (オブライエン) 高橋宏尚 (チャリントン氏) ジュリアーノ・コンタディーニ (パーソンズ) アシュレイ・ディクソン (マーティン) ケヴィン・ベン (アンブルフォース) ヴィクトリア・シブソン (リード・プロレ) ノーザン・バレエ団 [振付] ジョナサン・ワトキンス [音楽] アレックス・バラノフスキ [原作] ジョージ・オーウェルの小説『1984』 [装置 & 衣裳] サイモン・ドー [照明] クリス・デイヴィー [ビデオ] アンジェイ・グールドینگ [ドラマトルギー] ルース・リトル [指揮] ジョン・プライス＝ジョーンズ [演奏] ノーザン・バレエ・シンフォニア管弦楽団 [収録] 2016年5月24日～28日 サドラーズ・ウェルズ劇場 (ロンドン) [映像監督] ロス・マクギボン ■ 字幕/全2幕：約1時間30分
ベルリン州立バレエ2008『カラヴァッジオ』	1,2,3,4,5,6,7,13	カラヴァッジオの人生をバレエ化した2008年ベルリン州立バレエ公演。カラヴァッジオの作風そのままに「光」と「影」が横溢する舞台です。	[振付] マウロ・ピゴンゼッティ [音楽] クラウディオ・モンテヴェルディ [編曲] ブルーノ・モレッティ [装置 & 照明] カルロ・チェリ [衣裳] クリストファー・ミラー、ロイス・スワンデル [指揮] ポール・コネリー [演奏] シュターツカペレ・ベルリン [出演] ウラジミール・マラーホフ (カラヴァッジオ) ポリーナ・セミオノフ、ベアトリス・クノッブ、ミハイル・カニスキン、ドミトリー・セミオノフ、エリサ・カリツィョ・カブレラ、中村祥子、ミハエル・バンジャフ、レオナルド・ヤコヴィーナ、ベルリン州立バレエ団 [収録] 2008年12月ベルリン州立歌劇場 [映像監督] アンドレアス・モレル ■ 約1時間34分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ポリショイ・バレエ2003『ファラオの娘』	1,2	タイムスリップした若き英国人探検家と美しい王女の波乱万丈の恋。マリウス・ブティバの出世作を、ピエール・ラコットが巨大スケールで再現。	[出演]スヴェトラナ・ザハーロワ（アスピシア）セルゲイ・フィーリン（ウィルソン卿／タール）マリーヤ・アレクサンドロワ（ラムゼ）ゲンナジー・ヤーニン（ジョン・ブル／バッシフォンテ）アンドレイ・シトニコフ（ファラオ）アンドレイ・メラーニン（ヌビア王）ドミトリー・グダノフ（漁師）インナ・ベトロヴァ（漁師の妻）ウラデーミル・モイセーエフ（ナイル神）岩田守弘（猿）ポリショイ・バレエ団 [振付・脚色・演出・装置・衣裳]ピエール・ラコット[オリジナル振付]マリウス・ブティバ[オリジナル台本] ジュール＝アンリ・ヴェルノワ・ド・サン＝ジョルジュ、マリウス・ブティバ[原作]テオドール・ゴティエの小説『ミイラの物語』[照明]アレクサンダー・ルプツォフ[音楽]チェーザレ・プーニ[編曲&指揮]アレクサンドル・ソトニコフ[演奏]ポリショイ劇場管弦楽団[収録]2003年10月27日・29日・31日ポリショイ劇場（モスクワ）[映像監督] デニス・カイオッツィ ■全3幕：約1時間43分
ムラド・メルズキ『ピクセル』	18,23,24	フィジカルとデジタルの融合と対話による、シームレスな現実と虚構。ヒップホップの第一人者メルズキが創りだす、目をみはる詩的で幻想的な世界。	[出演]カンパニー・カフィグ[アーティストック・ディレクター & 振付]ムラド・メルズキ[デジタルアート]アドリアン・モンドー & クレール・バルデンヌ[音楽]アルマン・アマル[照明]ヤン・ティヴォリ[衣裳]パスカル・ロバン[収録]2014年1月21日メゾン・デザール・ド・クレティユ（フランス）[映像監督]モハメド・アタムナ ■約1時間12分
マリンスキー・バレエ2008「ストラヴィンスキーとバレエ・リュス」	17,18,19,22,23	必見！これぞ20世紀文化の幕開け！ストラヴィンスキーのバレエ3作品の初演時の舞台を、ゲルギエフとマリンスキー・バレエが総力を挙げて再現した貴重な映像。	[演目]バレエ『火の鳥』[音楽]イーゴル・ストラヴィンスキー[振付&台本]ミハイル・フォーキン[振付復元]イザベル・フォーキン、アンドリス・リエバ[美術&衣裳]アレクサンドル・ゴロヴィン、レオン・バクスト、ミハイル・フォーキン[美術&衣裳復元]アンナ・ネズニー & アナトリー・ネズニー[出演]エカテリーナ・コンダウロワ（火の鳥）イリヤ・クズネツォフ（イワン王子）マリアンナ・パブロワ（女王）ウラジーミル・ポノマレフ（不死身のカンチエイ）マリンスキー・バレエ団 [演目]バレエ『春の祭典』（ミリセント・ハドソンとケネス・アーチャーによる再構成版）[音楽]イーゴル・ストラヴィンスキー[振付]ヴァーツラフ・ニジンスキー[振付復元]ミリセント・ハドソン[台本]イーゴル・ストラヴィンスキー & ニコライ・レーリヒ[美術&衣裳]ニコライ・レーリヒ[美術&衣裳復元]ケネス・アーチャー[照明]ウラディミール・ルーキン[出演]アレクサンドラ・イオシフィディ（選ばれし生贄の乙女）エレナ・バジェーノワ（300歳の女長老）ウラジーミル・ポノマレフ（賢者）マリンスキー・バレエ団 [演目]バレエ『カンタータ』結婚』[音楽&台本]イーゴル・ストラヴィンスキー[振付]プロニスラヴァ・ニジンスカ[美術&衣裳]ナタリア・ゴンチャロワ[美術復元]ボリス・カミンスキー[衣裳復元]タチアナ・ノギノヴァ[出演]アンナ・シシエワ（花嫁）セルゲイ・ポポフ（花婿）エレナ・バジェーノワ（花嫁の母）ロマン・スクリプキン（花嫁の父）ワレリア・カルビーナ（花婿の母）ピョートル・スタシュナス（花婿の父）マリンスキー・バレエ団 [指揮]ヴァレリー・ゲルギエフ[演奏]サンクトペテルブルク・マリンスキー劇場管弦楽団、イリーナ・ワシリエワ（ソプラノ）オリガ・ザボワ（メゾ・ソプラノ）アレクサンダー・ティムチェンコ（テノール）ゲンナジ・ベズベンコフ（バス）[合唱指揮]アンドレイ・ペトレンコ [収録] 2008年6月マリンスキー劇場（サンクトペテルブルク） [映像監督] デニス・カイオッツィ ■全3部：約1時間51分
オペラ			
TUTTO VERDI #9『アッティラ』	29,30	23歳のアンドレア・パッティストーニがヴェルディの故郷ブッセートでヴェルディ初期のオペラを指揮した、2010年ヴェルディ・フェスティバル公演。	[出演]ジョヴァンニ・パッティスタ・パローディ（アッティラ／バス）スザンナ・ブランキーニ（オダベッラ／ソプラノ）ロベルト・デ・ビアージョ（フォレスト／テノール）セバスティアン・カタナ（エツィオ／バリトン）クリスティアーノ・クレモニーニ（ウルディーノ／テノール）ジャン・アトフェ（レオーネ／バス） [演目]ジュゼッペ・ヴェルディ：プロローグと3幕のドラマ・リーリコ『アッティラ』[台本]テミストクレ・ソレーラ、フランチェスコ・マリア・ピアヴェ[原作]ツァハリヤス・ヴェルナーの戯曲『フン族の王アッティラ』[演出]ピエルフランチェスコ・マエストロニ[装置&衣裳]カルロ・サーヴィ[照明]ブルーノ・チュッリ[指揮]アンドレア・パッティストーニ[演奏]パルマ王立歌劇場管弦楽団及び同合唱団[合唱指揮]マルティーノ・ファッジャーニ[収録]2010年10月ヴェルディ劇場（ブッセート） [映像監督]ティツィアーノ・マンチーニ ■字幕／プロローグ&全3幕：約2時間

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ウィーン国立歌劇場2019『トスカ』	15,16,17,18,19,21,27	なんと600回以上も繰り返し上演され続けるウィーン国立歌劇場を代表する人気プロダクション。奇をてらわないオーソドックスな演出とスター歌手を心ゆくまで堪能。	<p>[出演]カリーネ・ババジャニアン（フローリア・トスカ/ソプラノ）ピョートル・ベチャワ（マリオ・カヴァラドッシ/テノール）カルロス・アルバレス（スカルピア男爵/バリトン）ソリン・コリバン（チェーザレ・アンジェロツィ/バス）アレクサンドル・モイシウク（堂守/バス）ヴォルフラム・イゴール・デルントル（スポレッタ/テノール）ハンス・ペーター・カンメラ（シャルローネ/バス・バリトン）アイク・マルティロシアン（看守/バス）マリアム・タホン（牧童/オペラ学校の生徒）</p> <p>[演目]ジャコモ・プッチーニ：3幕のメロドラマ『トスカ』[脚本]ジュゼッペ・ジャコーザ&amp;ルイーダ・イリカ[原作]ヴィクトリヤン・サルドウーの戯曲『トスカ』[演出]マルガレーテ・ヴァルマン[装置 &amp; 衣裳]ニコラ・ブノワ[指揮]マルコ・アルミアート[演奏]ウィーン国立歌劇場管弦楽団及び同合唱団、同舞台オーケストラ、ウィーン国立歌劇場オペラ学校の生徒たち[合唱指揮]マルティン・シベスタ[収録]2019年6月23日ウィーン国立歌劇場</p> <p>■字幕/全3幕：2時間30分（番組枠）</p>
ウェルザー＝メスト「カウフマンのこもり」	22,23,24,25,26	恒例のドレスデン大晦日公演。2019年はティーレマンがお休みでウェルザー＝メストの『こもり』。カウフマン、クールマンは喜劇でもすごい！注目の新星も登場！	<p>[出演] ヨナス・カウフマン(アイゼンシュタイン/テノール) レイチェル・ウイリス＝ソレンセン（ロザンデ/ソプラノ）エリーザベト・クールマン（オルロフスキー公爵/メゾ・ソプラノ）アンドレアス・シャーガー（アルフレード/テノール）ニコラ・ヒレブランド（アデーレ/ソプラノ）セバステアン・ヴァルティヒ（ファルケ博士/バリトン）ミハエル・クラウス（フランク/バリトン）ターネー・ニボロ（イェダ/ソプラノ）キム・ピョンミン（プリント弁護士/テノール）</p> <p>[演目] ヨハン・シュトラウスⅡ世：喜歌劇『こもり』（全3幕/演奏会形式）</p> <p>[指揮] フランツ・ウェルザー＝メスト [演奏]シュターツカペレ・ドレスデン及び同合唱団 [合唱指揮] コーネリウス・フォルケ [収録] 2018年12月30日、ゼンパー・オーパー（ドレスデン） [映像監督] アンディ・ゾマー</p> <p>■全3幕：約1時間24分</p>
オランダ国立歌劇場2018『ホフマン物語』	8,9,10,11,12,14,20	21世紀の新校訂版による上演。鬼オトピアス・クラッツァーの攻めた演出と相まって、これまで見たことのない、新しい『ホフマン物語』が誕生！	<p>[出演] ニーナ・ミネジアン（オリンピア/ソプラノ）エルモネラ・ヤホ（アントニア/ソプラノ）クリスティン・ライス（ジュリエッタ/ソプラノ）アイリーン・ロバーツ（ミューズ/メゾ・ソプラノ）ジョン・オズボーン（ホフマン/テノール）エヴァ・クローン（アントニアの母/メゾ・ソプラノ）アーウィン・シュロット（リンドルフ、コッペリウス、ミラクル博士、ダベルトゥット/バリトン）ロドルフ・ブリアン（スパンツァーニ/テノール）ポール・ゲイ（ルーテル、クレスベル/バス）フランソワ・リス（シュレーミル/バス）サニーボーイ・ドラドラ（アンドレ、コシュニエユ、フランツ、ピティキナツォ/テノール）マーク・オンブリー（ナタナエル/テノール）フレデリク・ベルクマン（ヘルマン/バス）アレクサンデル・デ・ヨン（ヴィルヘルム/バス）ペーター・アリンク（悪党のボス/バリトン）</p> <p>[演出] トピアス・クラッツァー [舞台装置・衣裳] ライナー・セルマイヤー [照明] ベルト・ブルクラベク [指揮] カルロ・リッツィ</p> <p>[管弦楽] ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団 [合唱] オランダ国立歌劇場合唱団</p> <p>[演目] ジャック・オフエンバック：歌劇『ホフマン物語』全5幕</p> <p>[収録] 2018年6月 オランダ国立歌劇場 [映像監督] ミシェル・フェルメイレン</p> <p>■字幕/約2時間47分</p>
ザルツブルク音楽祭2016『ファウスト』	12,13,14,15,16,17,18,19,27	世界のオペラ界で今最も注目を集めるソプラノの一人マリア・アグレスタの美声を堪能するマルグリートといった主役3人の歌声と演技は必見。	<p>[出演]ピョートル・ベチャワ（フォースト（ファウスト）/テノール）イルダー・アブドラザコフ（メフィストフェレ（メフィストフェレス）/バス）マリア・アグレスタ（マルグリート/ソプラノ）アレクセイ・マルコフ（ヴァランタン/バリトン）タラ・エロート（シーベル（ジーベル）/メゾ・ソプラノ）パオロ・ルメツ（ヴァグネル/バリトン）マリー＝アンジュ・トドロヴィチ（マルト/メゾ・ソプラノ）ウィーン・フィルハーモニー・アンゲリカ・プロコップ・サマーアカデミーのメンバー</p> <p>[演目]シャルル・フランソワ・グノー：5幕のオペラ『ファウスト』[脚本]ジュール・バルビエ&amp;ミシェル・カレ[原作]ミシェル・カレの『フォーストとマルグリット』及びヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテの『ファウスト』第1部（ジェラルド・ド・ネルヴァルのフランス語訳）[演出 &amp; 装置 &amp; 衣裳]ラインハルト・フォン・デア・タンネン</p> <p>[指揮]アレホ・ベレス[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー合唱団[合唱指揮]ヴァルター・ツェー</p> <p>[収録]2016年8月20日 &amp; 23日ザルツブルク祝祭大劇場「ザルツブルク音楽祭2016」</p> <p>[映像監督]ティツィアーノ・マンチーニ</p> <p>■字幕/全5幕：約3時間7分</p>

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ザルツブルク音楽祭2018『魔笛』	19,20,23,24,25,26	サーカス小屋に捕らえられたパミーナを救え！名作に新たな世界観を構築した注目の演出。今大注目のギリシャ人指揮者コンスタンティノス・カリディスの音楽を観る！	<p>[出演]クラウス・マリア・ブランダウアー（おじいさん（語り手）／俳優）ウィーン少年合唱団（3人の孫、3人の童子）マウロ・ペーター（タミーノ／テノール）クリスティアーネ・カルク（パミーナ／ソプラノ）マティアス・ゲルネ（ザラストロ／バリトン）エマ・ボスマン（夜の女王／ソプラノ）アダム・ブラチェトカ（パバゲーノ／バス／バリトン）マリア・ナザーロヴァ（パバゲーナ／ソプラノ）イルゼ・エーレンス（侍女1／ソプラノ）ポーラ・マリヒー（侍女2／メゾ／ソプラノ）ジュスヴィエーヴ・キング（侍女3／メゾ／ソプラノ）マイケル・ポーター（モノスタス／テノール）タルク・ナズミ（弁者、僧侶1、鎧をつけた男2／バス）シモン・ボーデ（僧侶2、鎧をつけた男1／テノール）ブリギット・リナウアー（老パバゲーナ／俳優）</p> <p>[演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：2幕のジグシュピール『魔笛』K.620[台本]エマヌエル・シカネーダー[脚本]イナ・カール&amp;リディア・スタイアー</p> <p>[演出]リディア・スタイアー[装置]カテリーナ・シュリッパ[衣裳]ウルスラ・グドナルナ[照明]オラフ・フレゼ[ビデオ]フェットフィルム[ドラマトゥルギー]イナ・カール[指揮]コンスタンティノス・カリディス[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場合唱団、ソフィア・タムヴァコプルー（ハンマークラヴィア&amp;オルガン）アンドレアス・スクーラス（チェンバロ）[合唱指揮]エルンスト・ラッフェルスベルガー[ウィーン少年合唱団指導]エラスムス・バウムガルトナー [収録]2018年8月4日ザルツブルク祝祭大劇場「ザルツブルク音楽祭2018」[映像監督]ミヒャエル・ハイヤー</p> <p>■字幕／全2幕：約2時間30分</p>
ザルツブルク音楽祭2019『シモン・ボッカネグラ』	27,26,28,29,30	ザルツブルク音楽祭では12年ぶりに実現したゲルギエフのオペラ。鬼オクリーゲンブルクの斬新な演出が、普遍的な人間ドラマを描く『シモン・ボッカネグラ』	<p>[出演] ルカ・サルシ（シモン・ボッカネグラ／バリトン） マリーナ・レベカ（アメリア（マリア・ボッカネグラ）／ソプラノ） ルネ・バーベ（フィエスコ／バス） チャールズ・カストロノヴォ（ガブリエレ／テノール） アンドレ・エイボエル（パオロ／バリトン） アントニオ・ディ・マッテオ（ピエトロ／バス） ロン・ロン（騎兵隊長／テノール）</p> <p>[演目] ジュゼッペ・ヴェルディ：プロローグと3幕のメロドラマ『シモン・ボッカネグラ』 [演出] アンドレアス・クレーゲンブルク [装置] ハラルド・B・トーア</p> <p>[衣裳] ターニャ・ホフマン [照明] アンドレアス・グリューター [映像] ペイター・ヴェイノス [ドラマトゥルギー] ジュリア・ヴァインライヒ</p> <p>[指揮] ヴァレリー・ゲルギエフ [演奏] ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場合唱団 [収録] 2019年8月、ザルツブルク祝祭大劇場</p> <p>■字幕／約2時間20分</p>
ゼッファイレルの映画『道化師』	1,2	レオンカヴァルロの代表作であると同時に、イタリア・ヴェリズモ・オペラの最高傑作として名高い『道化師』を、『ロミオとジュリエット』『永遠のマリア・カラス』などの名匠フランコ・ゼッファイレルが映画化。	<p>[出演] プラシド・ドミンゴ（カニオ（劇中劇のバリアッチョ）／テノール） テレサ・ストラータス（ネッダ（劇中劇のコロンビーナ）／ソプラノ） ホアン・ボンス（トニオ（劇中劇のタデオ）／バリトン） フロリンド・アンドレオリ（ペッペ（劇中劇のアレッキーノ）／テノール） アルベルト・リナルディ（シルヴィオ／バリトン）</p> <p>[演目] ルッジェーロ・レオンカヴァルロ：プロローグと2幕のドラマ『道化師』 [台本] ルッジェーロ・レオンカヴァルロ [原案] 新聞の犯罪記事に基づく</p> <p>[監督] フランコ・ゼッファイレル [装置] ジャンニ・クワンタ [衣裳] アンナ・アンニ [指揮] ジョルジュ・プレートル [演奏] ミラノ・スカラ座管弦楽団及び同合唱団 [合唱指揮] ロマーノ・ガンドルフィ [制作] 1982年イタリア・ドイツ映画 ■字幕／全1幕(映画版):約1時間13分</p>
ブレゲンツ音楽祭2019『リゴレット』	1,2,3,4,5,13	ブレゲンツ音楽祭の湖上オペラでは初となるヴェルディの傑作『リゴレット』。映画『アイガー北壁』の監督フィリップ・シュテルツルが手掛ける驚異の舞台装置に注目。	<p>[出演] ウラディーミル・スタヤノフ（リゴレット／バリトン） メリッサ・プティ（ジilda／ソプラノ） スティーヴン・コステロ（マントヴァ公爵／テノール） ミクロ・シュ・セベスティエン（スバラフチーレ／バス） カトリン・ヴンザム（マッダレーナ、ジョヴァンナ／メゾ／ソプラノ） コスタス・スモリギナス（モンテローネ伯爵／バリトン） ヴォルフガング・シュテファン・シュヴァイガー（マルッロ／バリトン） パウル・シュヴァイネスター（ボルサ／テノール） ホルヘ・エリアザール（チェブラーノ伯爵／バス） レオニー・ルノー（チェブラーノ伯爵夫人／ソプラノ） キム・ヒュンドク（門番／テノール）</p> <p>[演目] ジュゼッペ・ヴェルディ：3幕のメロドラマ『リゴレット』 [台本] フランチェスコ・マリア・ピアヴェ [原作] ヴィクトル・ユゴーの戯曲『王は愉しむ』 [演出 &amp; 照明] フィリップ・シュテルツル [装置] フィリップ・シュテルツル、ハイケ・ヴォルマー [衣裳] カーティ・マウラー [照明] ゲオルグ・ファイト、フィリップ・シュテルツル [音響デザイン] ゲルノ・ゲーゲレ、アルウィン・ベッシュ [ドラマトゥルギー] オラフ・A・シュミット [指揮] エンリケ・マツォーラ [演奏] ウィーン交響楽団、ブラハ・フィルハーモニー合唱団、レゲンツ音楽祭合唱団 [合唱指揮] ルカーシュ・ヴァシレク、ベンジャミン・ラック [ステージ演奏] フォアアールベルク州立音楽院 [収録] 2019年7月19日ボーデン湖上舞台（ブレゲンツ）「第74回ブレゲンツ音楽祭」（オーストリア） [映像監督] フェリックス・プライザハ</p> <p>■字幕／全3幕：2時間20分（番組枠）</p>

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
モンテヴェルディ生誕450年～ガーディナーの『ウリッセの帰還』	22	70歳を超えたモンテヴェルディが描いた円熟作。生誕450年を祝して作曲家ゆかりの地ヴェネツィアで上演されたオペラ全3作一挙上演の記録！	<p>[出演]フリオ・ザナージ（ウリッセ／バリトン）リュシール・リシャルド（ペネロペ／アルト）クリスティアン・アダム（テレマコ／テノール）ハナ・ブラシコヴァ（運命&amp;ミネルヴァ／ソプラノ）ジャンルカ・プラット（時&amp;ネットウーノ&amp;アンティノー／バス）シルヴィア・フリガート（愛／ソプラノ）カルロ・ヴィストーリ（人間のはかなさ／カウンターテナー）ミハウ・チェルニアフスキ（ピサンドロ／カウンターテナー）ガレス・トレシダー（アンフィーノモ／テノール）ザカリー・ワイルダー（エウリーマコ／テノール）アンナ・デニス（メラント／ソプラノ）ジョン・テイラー・ウード（ジョーヴェ／バリトン）フランチェスカ・ボンコンパーニ（ジュノーネ／ソプラノ）ロバート・バート（イーロ／テノール）フランシスコ・フェルナンデス＝ルエダ（エウメテ／テノール）フランチェスカ・ビョッティ（エリクレア／アルト）</p> <p>[演目]クラウディオ・モンテヴェルディ：プロローグ&amp;3幕のドラマ・ベルム・ムジカ『ウリッセの帰還』[台本]ジャコモ・バドアーロ[原作]ホメロスの叙事詩『オデュッセイア』[演出]ジョン・エリオット・ガーディナー、エルサル・ルーク[衣裳]パトリシア・ホーフシュテデー[照明]リック・フィッシャー</p> <p>[指揮]ジョン・エリオット・ガーディナー[演奏]イングリッシュ・バロック・ソロイスツ、モンテヴェルディ合唱団</p> <p>[収録]2017年6月20日フェニーチェ歌劇場（ヴェネツィア）[映像監督]セバスティアン・グラス</p> <p>■字幕／プロローグ&amp;全3幕：約3時間18分</p>
モンテヴェルディ生誕450年～ガーディナーの『オルフェオ』	22	現在でも上演されている現役最古のオペラ。ガーディナーが自らの原点モンテヴェルディの生誕450年に挑んだ、オペラ全3作一挙上演の記録！	<p>[出演]クリスティアン・アダム（オルフェオ／テノール）ハナ・ブラシコヴァ（エウリディーチェ&amp;音楽／ソプラノ）リュシール・リシャルド（使者／アルト）フランチェスカ・ボンコンパーニ（プロセルピナ／ソプラノ）ジャンルカ・プラット（カロンテ&amp;ブルトネ／バス）カンミン・ジャスティン・キム（希望／カウンターテナー）フリオ・ザナージ（アポロ／バリトン）フランシスコ・フェルナンデス＝ルエダ（羊飼いⅠ／テノール）ガレス・トレシダー（羊飼いⅡ&amp;地獄の霊Ⅰ&amp;エコー／テノール）ジョン・テイラー・ウード（羊飼いⅣ&amp;地獄の霊Ⅲ／バリトン）ミハウ・チェルニアフスキ（羊飼いⅢ／カウンターテナー）ザカリー・ワイルダー（地獄の霊Ⅱ／テノール）アンナ・デニス（ニンファ／ソプラノ）</p> <p>[演目]クラウディオ・モンテヴェルディ：プロローグ&amp;5幕のファーヴォラ・イン・ムジカ『オルフェオ』[台本]アレクサンドロ・ストリッジョ[原作]ギリシャ神話[演出]ジョン・エリオット・ガーディナー、エルサル・ルーク[衣裳]パトリシア・ホーフシュテデー[照明]リック・フィッシャー</p> <p>[指揮]ジョン・エリオット・ガーディナー[演奏]イングリッシュ・バロック・ソロイスツ、モンテヴェルディ合唱団</p> <p>[収録]2017年6月19日フェニーチェ歌劇場（ヴェネツィア）[映像監督]セバスティアン・グラス</p> <p>■字幕／プロローグ&amp;全5幕：約2時間1分</p>
モンテヴェルディ生誕450年～ガーディナーの『ポッペアの戴冠』	22	凄まじいまでの人間の欲望を巧みな音楽で描き切ったオペラ史上初の歴史物。ガーディナーが自らの原点モンテヴェルディの記念年に挑んだ、作曲家最後の作品！	<p>[出演]ハナ・ブラシコヴァ（ポッペア&amp;運命／ソプラノ）カンミン・ジャスティン・キム（ネローネ／カウンターテナー）マリアンナ・ピッツォラート（オッターヴィア／メゾ・ソプラノ）ジャンルカ・プラット（セネカ／バス）カルロ・ヴィストーリ（オットーネ／カウンターテナー）アンナ・デニス（ドゥルジッラ&amp;美德&amp;パターデ／ソプラノ）リュシール・リシャルド（アルナルタ&amp;ヴェーネレ／アルト）シルヴィア・フリガート（愛&amp;ヴァレット／ソプラノ）フリオ・ザナージ（兵士Ⅰ&amp;リベルト／バリトン）ガレス・トレシダー（家族／テノール）ザカリー・ワイルダー（ルカーノ／テノール）フランチェスカ・ボンコンパーニ（ダミゼッラ／ソプラノ）ジョン・テイラー・ウード（メルクーリオ／バリトン）ミハウ・チェルニアフスキ（ヌートリチェ／カウンターテナー）ロバート・バート（兵士Ⅱ／テノール）</p> <p>[演目]クラウディオ・モンテヴェルディ：プロローグ&amp;3幕のドラマ・ムジカ『ポッペアの戴冠』[台本]ジョヴァンニ・フランチェスコ・プゼネッロ[原作]タキトゥスの『年代記』に基づく[演出]ジョン・エリオット・ガーディナー、エルサル・ルーク[衣裳]パトリシア・ホーフシュテデー[照明]リック・フィッシャー</p> <p>[指揮]ジョン・エリオット・ガーディナー[演奏]イングリッシュ・バロック・ソロイスツ、モンテヴェルディ合唱団</p> <p>[収録]2017年6月25日フェニーチェ歌劇場（ヴェネツィア）[映像監督]セバスティアン・グラス</p> <p>■字幕／プロローグ&amp;全3幕：約3時間15分</p>
ロッシーニ・オペラ・フェスティバル2010『デメトリオとポリビオ』	1,2,3,4,5,13	聖地ペーザロで復活したロッシーニのオペラ処女作！のちのロッシーニらしさも随所に感じられるフレッシュな作品の貴重な上演機会。幻想的な炎の演出が彩る。	<p>[出演]マリア・ホセ・モレーノ（リジンガ／ソプラノ）ヴィクトリア・ザイツェヴァ（デメトリオ（シヴェーノ）／メゾ・ソプラノ）石倚潔&lt;シー・イー・ジェ&gt;（デメトリオ（エウメーネ）／テノール）ミルコ・パラッツィ（ポリビオ／バス）</p> <p>[演目]ジョアキーノ・ロッシーニ：2幕のドラマ・セリオ『デメトリオとポリビオ』（ダニエーレ・カルニニ校訂版）[台本]ヴィンチエンツィーナ・ヴィガノー・モンベッリ</p> <p>[演出]ダヴィデ・リヴェルモレー[装置&amp;衣裳]アカデミア・ディ・ベッレ・アルティ・ディ・ウルビーノ[照明]ニコラス・ボヴェイ[指揮]コラード・ロヴァリス[演奏]ロッシーニ交響楽団、プラハ室内合唱団、ジャンニ・ファブリーニ（フォルテピアノ）アンドレア・アゴ스티ネッリ（通奏低音チェロ）[合唱指揮]リュボミール・マートル</p> <p>[収録]2010年8月10日テアトロ・ロッシーニ（ペーザロ）「ロッシーニ・オペラ・フェスティバル2010」[映像監督]ティツィアーノ・マンチーニ</p> <p>■字幕／全2幕：約1時間58分</p>



番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ロシアニ・オペラ・フェスティバル2013『アルジェのイタリア女』	6	ロシアニの喜劇オペラが、60年代のロマンティック・スパイ・コメディに変身。優れた歌唱力と美貌を誇るスター歌手ゴリャチョワが、“イタリア女”を好演。	[出演]アンナ・ゴリャチョワ（イザベラ/コントラルト） シー・イー・ジェ（リンドーロ/テノール） アレックス・エスポージト（ムスタファ/バス） マリオ・カッシ（タッデオ/バス） マリアンジェラ・シチリア（エルヴィーラ/ソプラノ） ラッファエッラ・ルピナッチ（ズルマ/メゾ・ソプラノ） ダヴィデ・ルチアーノ（ハリ/バス） [演目]ジョアキーノ・ロシアニ：オペラ（ドラマ・ジョコーソ）『アルジェのイタリア女』（アツィオ・コルギ校訂によるクリティカル・エディション） [台本]アンジェロ・アネッリ[演出]ダヴィデ・リヴェルモレ[装置・照明]ニコラ・ボヴェイ[衣裳]ジャンルーカ・ファラスキ[ビデオ・デザイン]D-Wok [指揮]ホセ・ラモン・エンシナル[演奏]ポロ・ニヤ市立劇場管弦楽団および同合唱団（合唱指揮：アンドレア・フィドゥッティ） [収録]2013年8月テアトロ・ロシアニ（ベーザロ）[映像監督]ティツィアーノ・マンチーニ ■字幕/全2幕：2時間40分（番組枠）
<b>コンサート</b>			
BBCプロムス2015「バーンスタインのミュージカルと映画音楽」	20	バーンスタイン生誕100年の今年、プロムス2015で行われたバーンスタイン没後25年ガラ・コンサートの模様を改めて楽しむ。最高のエンターテインメントを満喫！	[演目]レナード・バーンスタイン：ミュージカル『オン・ザ・タウン』～「まだベッドにいる気分」「ニューヨーク ニューヨーク」「寂しい町」「私は料理も得意」/ミュージカル『ペンシルヴァニア通り1600番地』～「ジェファソン大統領の日曜の昼食会の行進曲」「この家を大切に」/ミュージカル『ワンダフル・タウン』～「ちょっと恋をしたわ」「男性に嫌われる100の簡単な方法」/交響組曲『波止場』/ミュージカル『キャンディード』～「序曲」「私はどこでも生きられる」「ただこれだけか」「着飾って、きらびやかに」/ミュージカル『ウェスト・サイド・ストーリー』～「体育館でのダンス」「マリア」/歌劇『死チ島の騒動』/ミュージカル『ピーター・パン』～「一緒に夢を」/ミュージカル『キャンディード』～「さあ畑を耕そう」/ミュージカル『ウェスト・サイド・ストーリー』～「アメリカ」[指揮]ジョン・ウィルソン[演奏]ジョン・ウィルソン・オーケストラ、マイダ・ヴェール・シンガーズ[ヴォーカル]ルイーザ・ディアマン、ジュリアン・オヴエンデン、ルーシー・シャウファー、スカーレット・ストラーレン、アレクサンドラ・シルバー、スー・アップルビー、ジーナ・ベック、マーク・メドウス、ジャック・ノース、スチュアート・マシュー・プライス、サラ・ライアン、デーヴィッド・シードン・ヤング、マシュー・シードン・ヤング、ロバート・ウィンスレード・アンダーソン[合唱指揮]クリストファー・ディー[収録]2015年9月5日ロイヤル・アルバート・ホール(ロンドン)[映像監督]プリジット・コールドウェル ■字幕/約1時間49分
BBCプロムス2016「ガーシュウィン再発見」	20	ロンドン夏の風物詩「BBCプロムス」は、1895年、指揮者ヘンリー・ウッドと興行師ロバート・ニューマンがクラシック音楽を庶民にも親しんでもらおうという意図で創設した音楽祭。	[演目]序曲～ラフディン・ブルー～（ジョージ・ガーシュウィン作曲/レイ・ハインドルフ編曲）、ジョージ&アイラ・ガーシュウィン（サイ・オリヴァー&アクセル・ストルダール編曲）：映画『ガール・クレイジー』～「TREAT ME ROUGH」、ハリ・ウォーレン&アイラ・ガーシュウィン（コンラッド・サリンジャー編曲）：映画『ブロードウェイのバークレー夫妻』～「YOU'D BE HARD TO REPLACE」、ジョージ&アイラ・ガーシュウィン（コンラッド・サリンジャー編曲）：映画『巴里のアメリカ人』～「I'LL BUILD A STAIRWAY TO PARADISE」（天国への階段）、ジョージ&アイラ・ガーシュウィン（サイ・オリヴァー編曲）：映画『ガール・クレイジー』～「FASCINATING RHYTHM」（魅惑のリズム）、ジョージ&アイラ・ガーシュウィン（コンラッド・サリンジャー編曲）：映画『ガール・クレイジー』～「BUT NOT FOR ME」（バット・ナット・フォー・ミー）、ジョージ&アイラ・ガーシュウィン（コンラッド・サリンジャー編曲）：映画『ジグフェルド・フォリーズ』～「THE BABBITT AND THE BROMIDE」（凡人と俗人）、ジョージ&アイラ・ガーシュウィン（ハーバート・スベンサー、フド・リヴィングストン&ロバート・ラッセル・ベネット編曲）：映画『踊らん哉』～ファイナル・バレエ音楽、ジョージ&アイラ・ガーシュウィン（レオ・アルノー&コンラッド・サリンジャー編曲）：映画『ストライク・アップ・ザ・バンド』～「STRIKE UP THE BAND」（ストライク・アップ・ザ・バンド）、ジョージ&アイラ・ガーシュウィン（コンラッド・サリンジャー編曲）：映画『パリの恋人』～「FUNNY FACE」（ファニー・フェイス）、ジョージ&アイラ・ガーシュウィン（エドワード・B・パウエル編曲）：映画『ゴールドウィン・フォリーズ』～「LOVE WALKED IN」（歩み入る恋）、ジョージ&アイラ・ガーシュウィン（アレクサンダー・カレッジ編曲）：映画『パリの恋人』～「LET'S KISS AND MAKE UP」（キスして仲直り）、バートン・レイン&アイラ・ガーシュウィン（アンド・プレヴィン編曲）：映画『GIVE A GIRL A BREAK』～「IN OUR UNITED STATE」、ジョージ&アイラ・ガーシュウィン（レオ・アルノー&コンラッド・サリンジャー編曲）：映画『ブロードウェイのバークレー夫妻』～「THE SWING-TROT」（スウィング・トロット）、ジェローム・カーン&アイラ・ガーシュウィン（カルメン・ドラゴン編曲）：映画『カバーガール』～「LONG AGO AND FAR AWAY」（ロング・アゴー）、ジョージ&アイラ・ガーシュウィン（コンラッド・サリンジャー&ジョニー・グリーン編曲）：映画『巴里のアメリカ人』～「S WONDERFUL」（スワンダフル）、ハロルド・アーレン&アイラ・ガーシュウィン（レイ・ハインドルフ編曲）：映画『スタア誕生』～「THE MAN THAT GOT AWAY」（去っていった彼）、ジョージ&アイラ・ガーシュウィン（サウル・チャップリン、コンラッド・サリンジャー&ロバート・フランクリン編曲）：映画『巴里のアメリカ人』～バレエ音楽、ハロルド・アーレン&アイラ・ガーシュウィン（レイ・ハインドルフ編曲）：映画『スタア誕生』～「I T ' S A N E W WORLD」（イツ・ア・ニュー・ワールド）、バートン・レイン&アイラ・ガーシュウィン：映画『GIVE A GIRL A

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
BBCプロムス2016「グラジニーテ=ティエラ & ハンニガン」	27,28,29,30	人気指揮者グラジニーテ=ティエラが、バーミンガム市響の音楽監督就任直前にプロムスに登場。ハンニガンの歌唱と共に、ロンドンの聴衆を湧かせる。	<p>〔曲目〕  ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：歌劇『魔笛』K. 620から序曲  ハンス・アブラハムセン：「レット・ミー・テル・ユー」（作詞：ポール・グリフィス）（ロンドン初演）  ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー：交響曲第4番 へ短調Op. 36  ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー：バレエ音楽『眠りの森の美女』Op. 66から「ダイヤモンドの精の踊りとコーダ」  〔指揮〕 ミルガ・グラジニーテ=ティエラ 〔演奏〕 バーミンガム市交響楽団、バーバラ・ハンニガン（ソプラノ）  〔収録〕 2016年8月27日 ロイヤル・アルバート・ホール 〔映像監督〕 パティ・マー</p> <p>■ 1時間45分（番組枠）</p>
BBCプロムス2016「ゲルギエフ&ミュンヘン・フィル」	21	ロンドン夏の風物詩「BBCプロムス」は1895年、指揮者ヘンリー・ウッドと興行師ロバート・ニューマンがクラシック音楽を庶民にも親しんでもらおうという意図で創設した音楽祭です。	<p>〔演目〕モリス・ラヴェル：ボレロ、セルゲイ・ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番短調Op.30、フランツ・リスト：ラ・カンパネラ、ガリーナ・ウストヴォーリスカヤ：交響曲第3番『救世主イエスよ、われらを救いたまえ』、リヒャルト・シュトラウス：楽劇『ばらの騎士』演奏会用組曲、エクトール・ベルリオーズ：ハンガリー行進曲  〔指揮〕ヴァレリー・ゲルギエフ〔演奏〕ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ヘフゾ・アブドゥライモフ（ピアノ）アレクセイ・ペトレンコ（語り手）  〔収録〕2016年7月18日ロイヤル・アルバート・ホール（ロンドン）「プロムス4」  〔映像監督〕サイモン・プロトン</p>
BBCプロムス2016「バレンボイム & アルゲリッチ」	20	ロンドン夏の風物詩「BBCプロムス」は1895年、指揮者ヘンリー・ウッドと興行師ロバート・ニューマンがクラシック音楽を庶民にも親しんでもらおうという意図で創設した音楽祭です。	<p>〔演目〕イェルク・ヴィトマン：オーケストラのための演奏会用序曲『コン・プリオ』、フランツ・リスト：ピアノ協奏曲第1番変ホ長調S.124、フランツ・ベター・シューベルト：ロンドイ長調D.951, Op.107、リヒャルト・ワーグナー：歌劇『タンホイザー』～序曲／楽劇『神々の黄昏』～「夜明けとジークフリートのラインへの旅」〔ジークフリートの葬送行進曲〕／楽劇『ニルンベルクのマイスター・ジンガー』～「第1幕前奏曲」〔第3幕前奏曲〕／歌劇『ローエングリン』～第3幕前奏曲〔指揮〕ダニエル・バレンボイム〔演奏〕ウェスト=イースタン・ティヴァン・オーケストラ、マルタ・アルゲリッチ（ピアノ）〔収録〕2016年8月17日ロイヤル・アルバート・ホール（ロンドン）「プロムス43」〔映像監督〕ジョン・ウリアムズ</p> <p>■ 約1時間57分</p>
BBCプロムス2017「アンドラーシュ・シフの平均律クラヴィア曲集第1集」	21	巨匠アンドラーシュ・シフが構築するバッハの深遠な世界。巨大なロイヤル・アルバート・ホールで唯一人ピアノに向き合う、張り詰めた静寂と孤高の境地。	<p>〔演目〕ヨハン・セバスティアン・バッハ：平均律クラヴィア曲集第1集BWV.846?869〔ピアノ〕アンドラーシュ・シフ〔収録〕2017年9月7日ロイヤル・アルバート・ホール（ロンドン）「PROM73」〔映像監督〕ヘレン・スコット</p> <p>■ 約1時間52分</p>
BBCプロムス2017「ミルガ・グラジニーテ=ティエラ & バーミンガム市響」	21	ロンドン夏の風物詩「BBCプロムス」は1895年、指揮者ヘンリー・ウッドと興行師ロバート・ニューマンがクラシック音楽を庶民にも親しんでもらおうという意図で創設した音楽祭です。	<p>〔演目〕ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：『レオノーレ』序曲第3番八長調Op.72b、イーゴル・ストラヴィンスキー：ヴァイオリン協奏曲二調、エサ=ベッカ・サロネン：嗚い方を忘れてしまった、ジェラルド・バリ：カナダ（BBC委嘱／世界初演）、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：交響曲第5番八短調Op.67『運命』ヨハン・セバスティアン・バッハ：管弦楽組曲第3番二長調BWV.1068～第2曲「エール（G線上のアリア）」〔指揮〕ミルガ・グラジニーテ=ティエラ  〔演奏〕バーミンガム市交響楽団、リーラ・ジョセフォウィッツ（ヴァイオリン）アラン・クレイトン（テノール）〔収録〕2017年8月21日ロイヤル・アルバート・ホール（ロンドン）「BBCプロムス2017 Prom50」〔映像監督〕パティ・マー</p> <p>■ 字幕／約1時間30分</p>
BBCプロムス2018「アンドラーシュ・シフの平均律クラヴィア曲集第2集」	21	2018年BBCプロムスでの巨匠アンドラーシュ・シフによる『平均律クラヴィア曲集第2集』。円熟の境地に達したシフが遂に辿り着いたバッハのさらなる深遠な世界。	<p>〔演目〕ヨハン・セバスティアン・バッハ：平均律クラヴィア曲集第2集BWV.870?893〔ピアノ〕アンドラーシュ・シフ〔収録〕2018年8月29日ロイヤル・アルバート・ホール（ロンドン）「PROM63」〔映像監督〕ヘレン・スコット</p> <p>■ 約2時間24分</p>

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
BBCプロムス2018「イヴァン・フィッシャー & ブダペスト祝祭管」	13,14,15,16,17,18,19,26,27	ハンガリーの演奏家たちによるプロムス「ハンガリー・ナイト」。ツインバロンやジプシー・ヴァイオリンも登場。アンコールの歌うオーケストラは必見！	<p>[曲目]</p> フランツ・リスト：ハンガリー狂詩曲第1番嬰八短調 ヨハネス・ブラームス：ハンガリー舞曲第1番ト短調 フランツ・リスト：ハンガリー狂詩曲第3番変ロ長調 バプロ・デ・サラサーテ：ツイゴイネルワイゼンOp.20 ニコロ・パガニーニ：「ネル・コル・ピウの主題による序奏と変奏曲」よりヨハネス・ブラームス：ハンガリー舞曲第11番ニ短調 ヨハネス・ブラームス：交響曲第1番八短調Op.68 ヨハネス・ブラームス：ハンガリー舞曲第4番ヘ短調 [指揮] イヴァン・フィッシャー [演奏] ブダペスト祝祭管弦楽団 ヨーゼフ・レンドヴァイ、ヨーゼフ・レンドヴァイ・ジュニア（ヴァイオリン） イェヌー・リステシュ（ツインバロン） [収録] 2018年8月23日 ロンドン、ロイヤル・アルバート・ホール [映像監督] クリス・ルスマン ■ 1時間45分（番組枠）
BBCプロムス2018「カネラキス & アリサ・ワイラースタイン」	6,7,8,9,10,11,12,19	ライジング・スター & BBC響のしなやかな演奏によってプロムスに映える、20世紀ロシアの代表曲 & 若き俊才の新曲	<p>[曲目]</p> ベートーヴェン：序曲『コリオラン』Op.62 ショスタコーヴィチ：チェロ協奏曲第1番 変ホ長調Op.107 J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲第4番 変ホ長調 BWV1010からサラバンド（ソリスト・アンコール） アンドリュー・ノーマン：スパイラル（ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団／BBCプロムス共同委嘱作品） ラフマニノフ：交響的舞曲Op.45 [指揮] カリーナ・カネラキス [演奏] アリサ・ワイラースタイン（チェロ）、BBC交響楽団 [収録]2018年7月23日 ロンドン、ロイヤル・アルバートホール[監督]ケリー・クラーク ■ 1時間35分（番組枠）
BBCプロムス2018「ヤルヴィ & プニアティシヴィリ」	7,8,9,10,11,12,13	2018年プロムスにエストニア・フェスティバル管が初登場。パーヴォ・ヤルヴィの熱い指揮のもと、北欧の名作を聴かせる。プニアティシヴィリのグリーグの熱演も。	<p>[演目]</p> アルヴォ・ペルト：交響曲第3番 エドヴァルト・グリーグ：ピアノ協奏曲イ短調Op.16 【ソリストアンコール】クロード・ドビュッシー：月の光 ジャン・シベリウス：交響曲第5番変ホ長調Op.82 【アンコール】レボ・スメラ：スプリング・フライ、ヒューゴ・アルヴェーン：「羊飼いの娘の踊り」 [指揮] パーヴォ・ヤルヴィ [演奏] エストニア・フェスティバル管弦楽団、カティア・プニアティシヴィリ（ピアノ） [収録] 2018年8月13日 ロイヤル・アルバート・ホール（ロンドン） [映像監督] ジョナサン・ハズウェル ■ 約1時間53分
BBCプロムス2019「バーミンガム市響 & シェク・カネー＝メイソン」	28,29,30	注目の女性指揮者グラジニエ＝ティエラ & バーミンガム市響が今年もプロムスに登場！力を入れるヴァインベルク作品はじめ、「100年」記念の曲たちの個性を浮き彫りに。	<p>[演目] ドロシー・ハウエル：音詩「ラミア」、エドワード・エルガー：チェロ協奏曲ホ短調op. 85、ミエチスワフ・ヴァインベルク：「24の前奏曲」op. 100より第18番、オリヴァー・ナッセン：ヤンダー城への道 op. 21a、ミエチスワフ・ヴァインベルク：交響曲第3番 op. 45            [指揮]ミルガ・グラジニエ＝ティエラ[演奏]シェク・カネー＝メイソン（チェロ）バーミンガム市交響楽団            [収録] 2019年8月22日 ロンドン、ロイヤル・アルバート・ホール            ■ 約1時間42分</p>



番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
BBCプロムス2019「ボヘミアン・ラブソディ」	20,21,23,24,25,26	これぞ本家「ボヘミアン・ラブソディ」！英国の老舗音楽祭に登場した、注目のチェコの俊英指揮者によるチェコ音楽の名曲プログラム。ジョシュア・ベルの爽演に嘆息。	<p>[曲目] アントニン・ドヴォルザーク：ヴァイオリン協奏曲短調Op.53 アントニン・ドヴォルザーク：弦楽三重奏のためのミニアチュール作品Op.75aより第1曲 カヴァティーナ（ソリスト・アンコール） ベドルジハ・スメタナ：6つの連作交響詩『わが祖国』全曲 第1曲「ヴィシェフラド（高い城）」、第2曲「ヴァルタヴァ」、第3曲「シャルカ」、第4曲「ボヘミアの森と草原より」、第5曲「ターボル」、第6曲「プラニーク」 ベドルジフ・スメタナ：歌劇『売られた花嫁』よりポルカ、フリアント（アンコール）</p> <p>[指揮] ヤクブ・フルチャ [ヴァイオリン] ジョシュア・ベル、パート・ヴァンデンボゲルデ（コンサートマスター） * [ヴィオラ] ロイス・ランズバーク（首席奏者） * [管弦楽] バンベルク交響楽団 * =ソリスト・アンコール [収録] 2019年7月20日、ロンドン、ロイヤル・アルバート・ホール [映像監督] ロードリ・ヒュー ■2時間15分（番組枠）</p>
BBCプロムス2019「ワーナー映画音楽の世界」	21,23,24,26,27	ロンドンの夏を彩る大音楽祭BBCプロムス。その魅力は熱狂の「ラスト・ナイト」だけではない。大人気オーケストラが奏でるスクリーン・ミュージック集！	<p>[演目] エーリヒ・ヴォルフガング・コルンゴルト：映画『シー・ホーク』よりハリー・ウォーレン：映画『ゴールド・ディガース』より「We're in the Money」 シグモンド・ロンバーク：映画『砂漠の歌』よりマックス・スタイナー：映画『黄金』よりデイトリー・ティオムキン：映画『老人と海』より メレディス・ウィルソン：映画『ミュージック・マン』（1962）より「76本のトロンボーン」ハロルド・アーレン：映画『ブルース・イン・ザ・ナイト』よりプロニスラウ・ケイパー：映画『メイム叔母さん』より ハロルド・アーレン：映画『スタア誕生』より「ご一緒させて」 ハロルド・アーレン：映画『スタア誕生』より「去って行った彼」フレデリック・ロウ：映画『マイ・フェア・レディ』より ジュール・スタイン：映画『ジブシー』より「ジブシー」序曲 マックス・スタイナー：映画『情熱の航路』より サミー・フェイン：映画『カラムティ・ジェーン』より「デッドウッド・ステージ」&lt;ドリス・デイ・トリビュート&gt; ジュール・スタイン：映画『洋上のロマンス』より「イツ・マジック」アレックス・ノース：映画『欲望という名の電車』より フレデリック・ロウ：映画『キャメロット』より ヘンリー・マンシーニ：映画『酒とバラの日々』より エーリヒ・ヴォルフガング・コルンゴルト：映画『永遠の処女』より「明日」フレデリック・ロウ：映画『マイ・フェア・レディ』より「踊り明かそう」 ジョン・ウィリアムズ：組曲『ハリー・ポッター（と賢者の石）』より「ハリーの不思議な世界」</p> <p>[指揮] ジョン・ウィルソン [演奏] ジョン・ウィルソン・オーケストラ、ミカエラ・ベネット（ヴォーカル）、ルイーズ・ディアマン（ヴォーカル）、ケイト・リンジー（ヴォーカル）、マシュー・フォード（ヴォーカル）、メイダ・ヴェール・シンガーズ</p> <p>[収録] 2019年8月9日 ロイヤル・アルバート・ホール（ロンドン） [映像監督] プリジット・コールドウェル ■約2時間5分</p>
J・S・バッハ：パルティータ第1番変ロ長調BWV.825	7,8,9,10,11,22		<p>[演目]ヨハン・セバスティアン・バッハ：パルティータ第1番変ロ長調BWV.825 [チェンバロ]カール・リヒター [収録]1969年ベネディクト大修道院皇帝の間（オットー・ボイレン） [映像監督]アルネ・アルンボム ■約17分</p>
アーノンケールの『ブランデンブルク協奏曲第4番』	11,14,15,16,17	20世紀の古楽運動の主導者としてクラシック音楽界に革命をもたらし、2016年3月に86歳で亡くなったニコラウス・アーノンケールと手兵「ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス」が、1982年に映像収録したJ・S・バッハの傑作『ブランデンブルク協奏曲』。	<p>[演目]ヨハン・セバスティアン・バッハ：ブランデンブルク協奏曲第4番長調BWV.1049 [指揮]ニコラウス・アーノンケール [演奏]ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス、アリス・アーノンケール（ヴァイオリン） エリーザベト・マグヌス=アーノンケール（リコーダー） マリー・ヴォルフ（リコーダー） [収録]1982年7月5日～14日ヴィプリンゲン修道院図書館ホール（ウルム、ドイツ） [映像監督]クラウス・リンデマン ■約20分</p>

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
アンコンケールのモーツァルト「交響曲第31番『パリ』」	1,2	モーツァルトが1778年に作曲した交響曲第31番は、パリの演奏団体コンセル・スピリチュエルの支配人ジャン・ル・グロによって依頼されたことで『パリ』の愛称で呼ばれています。	[演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：交響曲第31番二長調K.297 (300a)『パリ』 [指揮]ニコラウス・アーノンクール[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録]1983年10月ムジークフェラインザール（ウィーン）[映像監督]クラウス・リンデマン ■約21分
アンドラーシュ・シフ「モーツァルト週間2015」	23,24,25,28	かつて「ハンガリーの若手三羽鳥」（他はデジュ・ランキ、故ゾルターン・コチシュ）の一人として、その後NHK教育テレビ（当時）「スーパー・ピアノ・レッスン〜アンドラーシュ・シフと挑戦するベートーヴェンのピアノ協奏曲」の講師として日本でもお馴染みのアンドラーシュ・シフが、1999年に自ら創設した室内オーケストラ「カペラ・アンドレア・バルカ」を率いて、ウィーンで活躍したベートーヴェン、シューベルト、モーツァルトを演奏した2015年「モーツァルト週間」公演。	[演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第1番八長調Op. 1 5、フランツ・ベター・シュベルト：交響曲第5番変ロ長調D.485、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：ピアノ協奏曲第22番変ホ長調K.482[指揮&ピアノ]アンドラーシュ・シフ[演奏]カペラ・アンドレア・バルカ[収録]2015年1月モーツァルトテウム大ホール（ザルツブルク）「モーツァルト週間2015」[映像監督]ヘラ=プリット・ギーゼ ■約1時間50分
ウィーン国立歌劇場創建150周年ガラ	29,30	開場150年を迎えたウィーン国立歌劇場。リング通りも車両通行止めにし、劇場横のカラヤン広場でスター歌手と1万人の市民が祝った無料の屋外ガラ・コンサート。	[演目]リヒャルト・ワーグナー：歌劇『タンホイザー』〜エリーザベットのアリア「おごそかなこの広間よ」（歌の殿堂）[出演]ニーナ・シュテンメ（ソプラノ） [演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：歌劇『フィデリオ』〜ドン・ピツァロのアリア「ああ、今こそチャンスだ」[出演]トマス・コニエチューニ（バス・バリトン） [演目]ジュゼッペ・ヴェルディ：歌劇『マクベス』〜バンクォーのアリア「息子よ、足下に気をつける」[出演]バク・ジョンミン（バス）[演目]ジュゼッペ・ヴェルディ：歌劇『ナブッコ』〜ヘブライの捕虜たちの合唱「行け、わが想いは、黄金の翼に乗って」[出演]ウィーン国立歌劇場合唱団[演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：歌劇『フィガロの結婚』〜伯爵夫人のアリア「楽しい思い出はどこへ」[出演]オルガ・ベズメルトナ（ソプラノ）[演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：歌劇『ドン・ジョヴァンニ』〜ドン・ジョヴァンニのアリア「酔いがまわるまで宴会だ」（シャンパンの歌）ノツェルリーナとドン・ジョヴァンニの二重唱「手を取り合って」[出演]アーウィン・シュロット（バス・バリトン）ヴァレンティナ・ナフォルニータ（ソプラノ）[演目]ジュール・マスネ：歌劇『ウェルテル』〜ウェルテルのアリア「春風よ、なぜ私を目覚めさせるのか」（オンアン）の歌）[出演]ベンジャミン・ベルンハイム（テノール） [演目]エーリヒ・ヴォルフガング・コルンゴルト：歌劇『死の都』〜マリエッタのアリア「私に残された幸せは」（マリエッタの歌）[出演]カミラ・ニールンド（ソプラノ） [演目]ジュゼッペ・ヴェルディ：歌劇『シチリア島の夕べの祈り』〜プロチダのアリア「おお、パレルモ」[出演]フェルッチョ・フルラネット（バス）[演目]ジュゼッペ・ヴェルディ：歌劇『オテロ』〜デズデモナとオテロの二重唱「もう夜もふけて」[出演]ロベルト・アラニーヤ（テノール）アレクサンドラ・クルザク（ソプラノ） [演目]アントニー・ドヴォルザーク：歌劇『ルサルカ』〜ルサルカのアリア「月に寄せる歌」[出演]ヴァレンティナ・ナフォルニータ（ソプラノ）[演目]リヒャルト・シュトラウス：楽劇『ばらの騎士』〜元帥夫人とオクタヴィアン、ソフィーの三重唱「私が誓ったことは、彼を正しいやり方で愛することでした」[出演]ニーナ・シュテンメ（ソプラノ）ステファニー・ハウツィール（メゾ・ソプラノ）チェン・ライス（ソプラノ） [演目]ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー：歌劇『エフゲニー・オネーギン』〜グレーミンのアリア「恋は年齢など問わぬもの」[出演]ギンター・グロイスベック（バス）[演目]シャルル・フランソワ・グノー：歌劇『ロミオとジュリエット』〜ジュリエットのアリア「私は夢に生きたい」[出演]アレクサンドラ・クルザク（ソプラノ） [演目]ジャック・アレヴィ：歌劇『ユダヤの女』〜エリアザルのアリア「ラシエルよ、主の恵みにより」[出演]ロベルト・アラニーヤ（テノール）[演目]ジャコモ・プッチーニ：歌劇『蝶々夫人』〜蝶々さんのアリア「ある晴れた日に」[出演]ソニア・ヨンチェヴァ（ソプラノ） [演目]ジュゼッペ・ヴェルディ：歌劇『椿姫』〜乾杯の歌「友よ、さあ飲み明かそう」[出演]全員
ガーディナー & バイエルン放送響「宗教曲の夕べ」	5,6	「古楽出身の巨匠」×「宗教曲にも定評ある世界屈指のオーケストラ&合唱団」による、全身全霊からほとぼる熱気と厚い信仰の空間！	[指揮] ジョン・エリオット・ガーディナー [管弦楽] バイエルン放送交響楽団 [合唱] バイエルン放送合唱団 [合唱指揮] ベター・ダイクストラ [出演] ルーシー・クロウ（ソプラノ） ジェニファー・ジョンストン（メゾ・ソプラノ） トビー・スペンス（テノール） ギンター・グロイスベック（バス） [曲目] フランツ・ヨーゼフ・ハイドン：モテット「度の過ぎた空しき苦悩」Hob. X X I : 1-13c フェリックス・メンデルスゾーン：交響曲第5番二短調Op.107「宗教改革」アントン・ブルックナー：ミサ曲第1番 二短調1.キリエ/2.グロリア/3.クレド/4.サンクトゥス/5.ベネディクトゥス/6.アニュス・デイ [収録] 2014年5月29日 ガスタイク・フィルハーモニー（ミュンヘン） [映像監督] テイロ・クラウゼ ■1時間35分（番組枠）

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
カヴァコス『ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第10番』	30	ピアニスト、エンリコ・パーチェと組んだ「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ」全曲コンサートより、ベートーヴェンにとって最後のヴァイオリン・ソナタとなる第10番。	[演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第10番ト長調Op.96[ヴァイオリン]レオニダス・カヴァコス[ピアノ]エンリコ・パーチェ[収録]2012年8月22日モーツァルテウム大ホール（ザルツブルク）「ザルツブルク音楽祭2012」[映像監督]クリスティアン・クルト・ヴァイス ■約32分
カヴァコス『ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第1番』	2,3,4,5,7,8,9,13	1967年アテネに生まれ、1985年に史上最年少でシベリウス国際ヴァイオリン・コンクールに優勝。2013年リリースのCD「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集」が世界的に評判を呼んでいるヴァイオリニスト、レオニダス・カヴァコス。	[演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第1番ニ長調Op.12-1[ヴァイオリン]レオニダス・カヴァコス[ピアノ]エンリコ・パーチェ[収録]2012年8月25日モーツァルテウム（ザルツブルク）「ザルツブルク音楽祭2012」[映像監督]クリスティアン・クルト・ヴァイス ■約22分
カヴァコス『ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第2番』	2,3,4,5,7,8,9,13	1967年アテネに生まれ、1985年に史上最年少でシベリウス国際ヴァイオリン・コンクールに優勝。2013年リリースのCD「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集」が世界的に評判を呼んでいるヴァイオリニスト、レオニダス・カヴァコス。	[演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第2番イ長調Op.12-2[ヴァイオリン]レオニダス・カヴァコス[ピアノ]エンリコ・パーチェ[収録]2012年8月23日モーツァルテウム（ザルツブルク）「ザルツブルク音楽祭2012」[映像監督]クリスティアン・クルト・ヴァイス ■約19分
カヴァコス『ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第3番』	9,10,11,12,14,15,16	1967年アテネに生まれ、1985年に史上最年少でシベリウス国際ヴァイオリン・コンクールに優勝。2013年リリースのCD「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集」が世界的に評判を呼んでいるヴァイオリニスト、レオニダス・カヴァコス。	[演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第3番変ホ長調Op.12-3[ヴァイオリン]レオニダス・カヴァコス[ピアノ]エンリコ・パーチェ[収録]2012年8月23日モーツァルテウム（ザルツブルク）「ザルツブルク音楽祭2012」[映像監督]クリスティアン・クルト・ヴァイス ■約22分
カヴァコス『ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第4番』	9,10,11,12,14,15,16	1967年アテネに生まれ、1985年に史上最年少でシベリウス国際ヴァイオリン・コンクールに優勝。2013年リリースのCD「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集」が世界的に評判を呼んでいるヴァイオリニスト、レオニダス・カヴァコス。	[演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第4番短調Op.23[ヴァイオリン]レオニダス・カヴァコス[ピアノ]エンリコ・パーチェ[収録]2012年8月22日モーツァルテウム（ザルツブルク）「ザルツブルク音楽祭2012」[映像監督]クリスティアン・クルト・ヴァイス ■約24分
カヴァコス『ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第5番』	16,17,18,19,21,22,23,27	2012年ザルツブルク音楽祭で3日間にわたり行われた「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ」全曲コンサートより、最もポピュラーな第5番『春』。	[演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第5番ヘ長調Op.24『春』[ヴァイオリン]レオニダス・カヴァコス[ピアノ]エンリコ・パーチェ[収録]2012年8月22日モーツァルテウム（ザルツブルク）「ザルツブルク音楽祭2012」[映像監督]クリスティアン・クルト・ヴァイス ■約27分
カヴァコス『ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第6番』	16,17,18,19,21,22,23,27	2012年ザルツブルク音楽祭で3日間にわたり行われた「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ」全曲演奏会より、ロシア皇帝アレクサンドル1世に献上されたOp.30（第6番～第8番）のチャームングな第6番。	[演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第6番イ長調Op.30-1[ヴァイオリン]レオニダス・カヴァコス[ピアノ]エンリコ・パーチェ[収録]2012年8月23日モーツァルテウム（ザルツブルク）「ザルツブルク音楽祭2012」[映像監督]クリスティアン・クルト・ヴァイス ■約26分
カヴァコス『ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第7番』	23,24,25,26,28,29,30	1967年アテネに生まれ、1985年に史上最年少でシベリウス国際ヴァイオリン・コンクールに優勝。2013年リリースのCD「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集」が世界的に評判を呼んでいるヴァイオリニスト、レオニダス・カヴァコス。	[演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調Op.30-2[ヴァイオリン]レオニダス・カヴァコス[ピアノ]エンリコ・パーチェ[収録]2012年8月23日モーツァルテウム（ザルツブルク）「ザルツブルク音楽祭2012」[映像監督]クリスティアン・クルト・ヴァイス ■約27分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
カヴァコス『ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第8番』	23,24,25,26,28,29,30	1967年アテネに生まれ、1985年に史上最年少でシベリウス国際ヴァイオリン・コンクールに優勝。2013年リリースのCD「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集」が世界的に評判を呼んでいるヴァイオリニスト、レオニダス・カヴァコス。	[演目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第8番長調Op.30-3[ヴァイオリン]レオニダス・カヴァコス[ピアノ]エンリコ・パーチェ[収録]2012年8月25日モーツァルテウム（ザルツブルク）「ザルツブルク音楽祭2012」[映像監督]クリスティアン・クルト・ヴァイス ■約21分
カヴァコス『ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第9番』	30	2012年ザルツブルク音楽祭「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ」全曲コンサートより、フランスの名ヴァイオリニスト、ロドルフ・クロイツェルに献呈された第9番。	[演目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第9番イ長調Op.47『クロイツェル』[ヴァイオリン]レオニダス・カヴァコス[ピアノ]エンリコ・パーチェ[収録]2012年8月25日モーツァルテウム大ホール（ザルツブルク）「ザルツブルク音楽祭2012」[映像監督]クリスティアン・クルト・ヴァイス ■約41分
ガッティ&コンサートヘボウ管2017「ドビュッシー&ストラヴィンスキー」	30	名門ロイヤル・コンサートヘボウならではの豊かなサウンドが、現代的でスタイリッシュな『春祭』を生んだ名演！ 今となっては貴重な、ガッティとの共演の記録。	[演目] クロード・ドビュッシー：『牧神の午後への前奏曲』/交響詩『海』〜3つの交響的エスキス、イーゴリ・ストラヴィンスキー：バレエ『春の祭典』[指揮]ダニエレ・ガッティ [演奏] ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団 [収録] 2017年1月コンサートヘボウ（アムステルダム） [映像監督] ティック・カイス ■約1時間22分
カラヤン&ベルリン・フィル『ベートーヴェン：田園』	4,5,7,8,9,10,11,13	50年以上前の作品とは思えない新しさ！ 映像表現の多彩さが帝王カラヤンの先見性を示す、コンサート映像の概念を超えた芸術作品。	[曲目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：交響曲第6番 へ長調 Op.68『田園』 [指揮] ヘルベルト・フォン・カラヤン [管弦楽] ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録] 1967年、ベルリン、CCCフィルム・スタジオ [映像監督] フーゴ・ニーベリング ■45分（番組枠）
カラヤン&ベルリン・フィル『新世界より』	10,11,14,15,18,30	映画『恐怖の報酬』の監督アンリ・ジョルジュ・クルーゾーが撮影した帝王カラヤン全盛期の姿。カジュアルファッションのカラヤンの顔の表情や指揮ぶりを美しいモノクロ映像で堪能。	[演目] アントニー・ドヴォルザーク：交響曲第9番 短調Op.95,B.178『新世界より』[指揮]ヘルベルト・フォン・カラヤン[演奏]ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団[収録]1966年1月〜2月ユニオン・スタジオアトリエ（ベルリン） [映像監督]アンリ=ジョルジュ・クルーゾー ■約41分
カラヤン&ベルリン・フィル『魔弾の射手』序曲	14,24,28,30	オペラにおけるドイツ・ロマン主義を確立した記念碑的作品として知られるウェーバーの歌劇『魔弾の射手』より、コンサートでも単独で取り上げられる有名な序曲。	[演目] カール・マリア・フォン・ウェーバー：歌劇『魔弾の射手』J.277〜序曲[指揮&映像監督]ヘルベルト・フォン・カラヤン[演奏]ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団[収録]1975年1月フィルハーモニーザール（ベルリン） ■約12分
クーベリック&コンサートヘボウ『ベートーヴェン：レオノーレ序曲第3番』	6	20世紀を代表するチエコ出身の指揮者ラファエル・クーベリック50代のベートーヴェン。1960年代コンサートヘボウ管のサウンドも見どころ。	[演目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：『レオノーレ』序曲第3番 長調Op.72a [指揮]ラファエル・クーベリック[演奏]アムステルダム・コンサートヘボウ管弦楽団[収録]1969年コンサートヘボウ（アムステルダム） [映像監督]エーケ・ファルク ■約17分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
クーベリック&コンセルトヘボウ『ベートーヴェン：交響曲第2番』	2,15,19,27	20世紀を彩る巨匠たちの貴重映像の数々。音だけではわからない、伝説のアーティストの動きや表情までを生き生きと映し出す。往年のファンには懐かしく、若いファンには新しい。	[演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：交響曲第2番ニ長調Op.36[指揮]ラファエル・クーベリック[演奏]アムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団[収録]1969年コンセルトヘボウ（アムステルダム）[映像監督]エーケ・ファルク ■約36分
グリゴリー・ソコロフ「トリノ・リサイタル2017」	22,23,24,25,26,27,29	現代最高、幻のピアニストの貴重なライブ！ 結晶化したとびきり美しいタッチが、深遠広大な宇宙を創造する	[演奏] グリゴリー・ソコロフ（ピアノ） [演目] ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：ピアノ・ソナタ第15番 八長調 K.545、幻想曲 八短調 K.475、ピアノ・ソナタ第14番 八短調 K.457 ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第27番 木短調 Op.90、ピアノ・ソナタ第32番 八長調 Op.111 [アンコール] フランツ・シューベルト：「楽興の時」D780から第1番八長調 フレデリック・ショパン：ノクターン 口長調 Op.32-1、変イ長調 Op.32-2 ジャン＝フィリップ・ラモーン：『クラヴサン・コンセル』から「軽はずみなおしゃべり」ロベルト・シューマン：アラバスク 八長調 Op.18 クロード・ドビュッシー：前奏曲集第2巻から第10曲「カノーブ」 [収録] 2017年5月31日 トリノ、リンゴット・コングレス・センター [映像監督] ナディア・ノヴィコヴァ ■約2時間21分
グリモー「ピアノ・リサイタル『Woodlands and Beyond』	8,9,10,11,12,13,14,15,20	自然との共生をライフワークとして活動するエレヌ・グリモーが、森の映像が映し出される巨大スクリーンの前で演奏する、森と水の音楽。	[ピアノ] エレヌ・グリモー [写真] マット・ヘネック [曲目] ルチアーノ・ベリオ：水のピアノ〜6つのアンコール第3曲—アントニオ・バリスタのための ニティン・ソーニー：ウォーター—トランジション1 武満 徹：雨の樹素描Ⅱ〜オリヴィエ・メシアンの追憶に ニティン・ソーニー：ウォーター—トランジション2 ガブリエル・フォーレ：舟歌第5番嬰へ短調Op.66 ニティン・ソーニー：ウォーター—トランジション3 モーリス・ラヴェル：水の戯れ ニティン・ソーニー：ウォーター—トランジション4 イサーク・アルベニス：アルメリア〜『イペリア第2巻』第2曲 ニティン・ソーニー：ウォーター—トランジション5 フランツ・リスト：エステ荘の噴水〜『巡礼の年第3年』第4曲 ニティン・ソーニー：ウォーター—トランジション6 レオシュ・ヤナーチェク：アンダンテ〜『霧の中で』第1曲 ニティン・ソーニー：ウォーター—トランジション7 クロード・ドビュッシー：沈める寺〜『前奏曲集第1巻』第10曲 [収録] 2017年6月26日、ハンブルク、エルブフィルハーモニー [映像監督] フランソワ＝ルネ・マルタン ■約61分
ゲルギエフの「オデオンスプラッツ・コンサート2018」フローレスを迎えて	2,3,4,7,8	ミュンヘンっ子お待ちかねの夏の野外コンサートに王者フローレスが登場。暮れなずむ旧市街の淡い光の中でスーパー・ベルカント・テノールが炸裂！	[演目] ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：歌劇『フィガロの結婚』序曲／歌劇『魔笛』よりタミーノのアリア「なんと美しい絵姿」、ガエターノ・ドニゼッティ：歌劇『ランメルモールのルチア』よりエドガルドのアリア「わが祖先の墓よ」「やがてこの世に別れを告げよう」、エクトル・ベルリオーズ：序曲『ローマの謝肉祭』Op.9、ジュール・マスネ：歌劇『ウェルテル』よりウェルテルのアリア「春風よ、なぜ私を目覚めさせるのか」／歌劇『マノン』よりデ・グリユーのアリア「一人になった…消え去れ、やさしい面影よ」、ジュゼッペ・ヴェルディ：歌劇『運命の力』序曲、ジャコモ・プッチーニ：歌劇『ラ・ボエーム』よりロドルフォのアリア「冷たき手を」、ジュゼッペ・ヴェルディ：歌劇『イ・ロンバルディ』よりオロンテのカヴァティーナとカヴァレッタ「私の喜びを」「天はこんなに純粋な天使を」、ジャコモ・プッチーニ：歌劇『トゥーランドット』よりカラフのアリア「誰も寝てはならぬ」、ニコライ・リムスキー＝コルサコフ：交響組曲『シエラザード』Op.35、ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー：バレエ組曲『くるみ割り人形』Op.71aより「トレバーク」 [指揮] ヴァレリー・ゲルギエフ [演奏] ファン・ディエゴ・フローレス（テノール）ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録] 2018年7月14日 オデオンスプラッツ（ミュンヘン）「オデオンスプラッツ・コンサート2018」[映像監督] エリーザベト・マルツァー ■約1時間51分



番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ザ・リターン・オブ・マリア・カラス／幻のロンドン・ライブ1973	25,28,29,30	1965年に引退を発表した20世紀最大のソプラノ、マリア・カラスが名テノール、ジュゼッペ・ディ・ステファノとの共演で再びステージに立った1973年のロンドン・ライブ。映像監督はジョン・カルショー。	[演目]ジュゼッペ・ヴェルディ：歌劇『ドン・カルロ』～ドン・カルロとエリザベッタの第2幕の二重唱、エドゥアール・ラロ：歌劇『イスの王様』～ミリオのオバド「愛する者よ、今はもう」、アミルカレ・ボンキエリ：歌劇『ジョコンダ』～ジョコンダのアリア「自殺！」、ジョルジュ・ビゼー：歌劇『カルメン』～カルメンとドン・ホセの二重唱「あなたね！・・・俺だ」、ピエトロ・マスカーニ：歌劇『カヴァレリア・ルスティカーナ』～サントゥツァのアリア「ママも知るとおり」/サントゥツァとトゥリッドゥの二重唱「お前ここにいたのか、サントゥツァ？」、ジャコモ・プッチーニ：歌劇『ジャンニ・スキッキ』～ラウレッタのアリア「私のお父さん」[出演]マリア・カラス（ソプラノ）ジュゼッペ・ディ・ステファノ（テノール）アイヴァー・ニュートン（ピアノ）[収録]1973年11月26日ロイヤル・フェスティバル・ホール（ロンドン）[映像監督]ジョン・カルショー ■字幕／約58分
ザルツブルク音楽祭2009『オープニング・コンサート』	3,4,5,7,8,9,10,13	ウィーン・フィルが演奏するザルツブルク音楽祭オープニング・コンサート。2009年は、巨匠指揮者ニコラウス・アーノンクールの80歳を記念して開幕しました。	[演目]フランツ・ベーター・シュベルト（アントン・ヴェーベルン編）：6つのドイツ舞曲D.820、ヨーゼフ・シュトラウス：ポルカ・マズルカ『女心』Op.166／ワルツ『うわごと』Op.212／ポルカ『ごちゃまぜ』Op.161、フランツ・ベーター・シュベルト：交響曲第8番八長調D.944『ザ・グレイト』 [指揮]ニコラウス・アーノンクール[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録]2009年7月26日&28日ザルツブルク祝祭大劇場[映像監督]ミハエル・ペイヤー ■約1時間37分
ザルツブルク音楽祭2011『オープニング・コンサート』	10,11,12,14,15,16,17	音楽祭のコンサートの開幕を飾るオープニング・コンサートは、ザルツブルク音楽祭のメイン・オーケストラであるウィーン・フィルが毎年演奏する。2011年のプログラムは、20世紀初頭にウィーンで活躍した2人の作曲家アルバン・ベルクとグスタフ・マーラーが取り上げられた。	[演目]アルバン・ベルク：『ルル』組曲（5つの交響的小品）～ロンド／オスティナート／ルルの歌／変奏曲／アダージョ（テキスト：歌劇『ルル』よりフランク・ヴェーデキントの戯曲よりアルバン・ベルク）、アルバン・ベルク：コンサート用アリア『ワイン』～ワインの魂？ 恋人同士のワイン？ 孤独な男のワイン（テキスト：シャルル・ボードレルの詩集『悪の華』よりシュテファン・ゲオルゲのドイツ語訳）、グスタフ・マーラー：カンタータ『嘆きの歌』（1898/99年改訂版）（テキスト：『グリム童話集』などによりグスタフ・マーラー） [指揮]ピエール・ブレーズ[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、アンナ・プロハスカ（ソプラノ／『ルル』組曲）ドロテア・レシュマン（ソプラノ／『ワイン』『嘆きの歌』）アンナ・ラーション（メゾ・ソプラノ／『嘆きの歌』）ヨハン・ポータ（テノール／『嘆きの歌』）ウィーン国立歌劇場合唱団[合唱指揮]イェルン・H・アンドレーセン[収録]2011年7月28日ザルツブルク祝祭大劇場[映像監督]ミハエル・ペイヤー ■字幕／約1時間30分
ザルツブルク音楽祭2012『オープニング・コンサート』	17,18,19,22,23,24,27	ザルツブルク音楽祭のコンサートの開幕を飾るオープニング・コンサートは、音楽祭のメイン・オーケストラであるウィーン・フィルが毎年演奏する。	[演目]イーゴル・ストラヴィンスキー：詩篇交響曲、モデスト・ムソルグスキー（アレクサンドル・ラスカフ編曲）：歌曲集『死の歌と踊り』～子守歌／セレナード／トレパーク／司令官（アルセニイ・ゴレニシチエフ＝クトゥーゾフ詩）、セルゲイ・プロコフィエフ：交響曲第5番変ロ長調Op.100[指揮]ヴァレリー・ゲルギエフ[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場合唱団、セルゲイ・セミシュケル（テノール）[合唱指揮]エルンスト・ラッフェルスベルガー[収録]2012年7月29日ザルツブルク祝祭大劇場[映像監督]アンドレアス・モレル ■字幕／約1時間35分
シャイ「ミラノのためのコンサート2019」 in ドゥオーモ広場	1,2,3,4	ミラノのドゥオーモ広場に40,000人の観客を集める恒例の野外コンサート。2019年は没後40年を迎えるニーノ・ロータをトリビュート。映画『道』のバレエ組曲は必見。	[演目]アントニン・ドヴォルザーク：交響曲第9番短調Op.95,B.178『新世界より』、ニーノ・ロータ：バレエ組曲『道』（第1曲「田舎の結婚」「ザンパノの到着」）第2曲「3人の演奏者と張り綱の上の『マット』」第3曲「サーカス」（ザンパノの音楽－ジャグラー－『マット』のヴァイオリン）第4曲「ザンパノの怒り」第5曲「ザンパノ、『マット』を殺す－ジェルソミーナの苦痛」第6曲「最後の雪の場面」「さらば、ジェルソミーナ」第7曲「ザンパノの孤独と涙」／映画『オーケストラ・リハーサル』～「嘲笑」「ギャロップ」、アルトゥーロ・マルケス：ダンソン第2番[指揮]リッカルド・シャイ[演奏]スカラ・フィルハーモニー管弦楽団[収録]2019年6月9日ドゥオーモ広場（ミラノ）「ミラノのためのコンサート2019」[映像監督]パトリツィア・カルミネ ■1時間40分（番組枠）

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
シュライアー & ブッフピンダー「ドイツ・リート の夕べ」Vol.1	4,7,8,9 ,23	20世紀を代表するドイツのテノール歌手で、オペラのみならず宗教曲やドイツ・リートで一世を風靡したペーター・シュライアー30代半ばの瑞々しいドイツ・リート集。ピアノは、オーストリアで、まだ20代半ばの若きルドルフ・ブッフピンダー。	[演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト:夕べの想いK.523、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン:君を愛すWoO.123、フランツ・ペーター・シュベルト:野ばらD.257,Op.3-3/歌曲集『白鳥の歌』D.957,965A~セレナード/ミューズの子D.764,Op.92-1、ヨハネス・ブラームス:ドイツ民謡集~美しい乙女よ、私を許して/こんばんは、おずるさん/かわいい恋人よ、素足で来ないで/美しい羊飼いの娘よ、私に話して/太陽はもう輝かない[テノール]ペーター・シュライアー[ピアノ]ルドルフ・ブッフピンダー[収録]シェーンブルク館(ウィーン)[映像監督]フーゴー・ケヒ[制作]1972年■字幕/約29分
シュライアー & ブッフピンダー「ドイツ・リート の夕べ」Vol.2	14,15,1 6,17,18 ,23	20世紀を代表するドイツのテノール歌手で、オペラのみならず宗教曲やドイツ・リートで一世を風靡したペーター・シュライアー30代半ばの瑞々しいドイツ・リート集。ピアノは、オーストリアで、まだ20代半ばの若きルドルフ・ブッフピンダー。	[演目]ロベルト・アレクサンダー・シューマン:歌曲集『ミルテの花』Op.25~第24曲『きみは花のよう』/歌曲集『5つのリートと歌』Op.127~君の顔/歌曲集『リーダークライス』Op.39~月夜、ヨハネス・ブラームス:五月の夜Op.43-2/秋の気配Op.48-7/憧憬Op.49-3、ヨハネス・ブラームス:ドイツ民謡集~マリアの巡礼/お姉さん、私たちはいつ家に帰るの/どうやって門から入ろうか[テノール]ペーター・シュライアー[ピアノ]ルドルフ・ブッフピンダー[収録]シェーンブルク館(ウィーン)[映像監督]フーゴー・ケヒ[制作]1972年■字幕/約28分
ショルティ&シカゴ響『未完成』	1,2,15, 16,17,1 8	20世紀を代表するハンガリーの指揮者ゲオルグ・ショルティと手兵シカゴ響の黄金コンビによる、シュベルトの最も有名な『未完成』の定番映像。	[演目]フランツ・ペーター・シュベルト:交響曲第7番(旧8番)ロ短調D.759『未完成』[指揮]サー・ゲオルグ・ショルティ[演奏]シカゴ交響楽団[収録]1979年オーケストラ・ホール(シカゴ)[映像監督]ハンフリー・バートン■約33分
チェコ・フィルのドヴォルザーク『交響曲第2 番』	7,9,13, 21,29	第1番の完成直後に作曲された交響曲第2番は、ワーグナーの影響が随所に窺える。ドヴォルザークはこの曲を大切に扱い、その後改訂を施して1888年に初演した。	[演目]アントニン・ドヴォルザーク:交響曲第2番変ロ長調Op.4,B.12 [指揮]イルジー・ピエロフラーヴェク[演奏]チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 [収録]2013年11月13日~15日「ルドルフィヌム」内ドヴォルザーク・ホール(ブラハ)[映像監督]アダム・レゼク■約56分
チェコ・フィルのドヴォルザーク『交響曲第7 番』	20,29	楽団員の99%がチェコ人であるチェコ・フィルと、2012年に20年ぶりに首席指揮者として同楽団に戻ってきたチェコ人指揮者イルジー・ピエロフラーヴェクによる、21世紀新時代の「ドヴォルザーク交響曲全集」より、ドヴォルザーク三大交響曲の一つ、第7番。	[演目]アントニン・ドヴォルザーク:交響曲第7番二短調Op.70,B.141 [指揮]イルジー・ピエロフラーヴェク[演奏]チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 [収録]2012年12月19日~21日「ルドルフィヌム」内ドヴォルザーク・ホール(ブラハ)[映像監督]アダム・レゼク■約43分
ツィメルマンのショパン『バラード第1番』	1,2,3,1 2,20	第9回(1975年)ショパン国際ピアノ・コンクールで、史上初のポーランド人優勝、しかも史上最年少優勝が大きな話題を呼んだクリスティアン・ツィメルマンは、今や世界最高のピアニストの一人として、日本でも高い人気を誇る巨匠です。	[演目]フレデリック・フランソワ・ショパン:バラード第1番ト短調Op.23 [ピアノ]クリスティアン・ツィメルマン [収録]1987年2月ローゼンヒューゲル(ウィーン)[映像監督]ハンフリー・バートン■約12分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ツィメルマンのショパン『バラード第2番』	8,12,20	第9回（1975年）ショパン国際ピアノ・コンクールで、史上初のポーランド人優勝、しかも史上最年少優勝が大きな話題を呼んだクリスティアン・ツィメルマンは、今や世界最高のピアニストの一人として、日本でも高い人気を誇る巨匠です。	[演目]フレデリック・フランソワ・ショパン：バラード第2番へ長調Op.38 [ピアノ]クリスティアン・ツィメルマン [収録]1987年2月ローゼンヒューゲル（ウィーン）[映像監督]ハンフリー・バートン ■約9分
ツィメルマンのショパン『バラード第3番』	12,20,24,28,29	第9回（1975年）ショパン国際ピアノ・コンクールで、史上初のポーランド人優勝、しかも史上最年少優勝が大きな話題を呼んだクリスティアン・ツィメルマンは、今や世界最高のピアニストの一人として、日本でも高い人気を誇る巨匠です。	[演目]フレデリック・フランソワ・ショパン：バラード第3番変イ長調Op.47 [ピアノ]クリスティアン・ツィメルマン [収録]1987年2月ローゼンヒューゲル（ウィーン）[映像監督]ハンフリー・バートン ■約9分
ツィメルマンのショパン『バラード第4番』	12,17,18,20	第9回（1975年）ショパン国際ピアノ・コンクールで、史上初のポーランド人優勝、しかも史上最年少優勝が大きな話題を呼んだクリスティアン・ツィメルマンは、今や世界最高のピアニストの一人として、日本でも高い人気を誇る巨匠です。	[演目]フレデリック・フランソワ・ショパン：バラード第4番へ短調Op.52 [ピアノ]クリスティアン・ツィメルマン [収録]1987年2月ローゼンヒューゲル（ウィーン）[映像監督]ハンフリー・バートン ■約13分
ティーレマン&ウィーン・フィル『ベートーヴェン：田園』	18,19,22,23,24,25,27	21世紀初となるウィーン・フィルのベートーヴェン交響曲全集映像。各々標題が付いた5楽章からなり、自然の描写的表現も取り入れられ、後のロマン派の作曲家たちに大きな影響を与えた。	[演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：交響曲第6番へ長調Op.68『田園』[指揮]クリスティアン・ティーレマン[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録]2010年4月ムジークフェラインザール（ウィーン）[映像監督]カリナ・フィビッヒ ■約52分
ティーレマン「ネトレブコとフロレスのチャールダーシュの女王」	1,2,3,4,5,6,7,8,13	ネトレブコ&フロレスという21世紀最強コンビのオペレッタ！『隠れオペレッタ通』ティーレマンが豪華キャストと贈る『チャールダーシュの女王』ハイライト！	[演目]エメリヒ・カールマン：喜歌劇『チャールダーシュの女王』ハイライト（演奏会形式）[指揮]クリスティアン・ティーレマン[演奏]シュターツカペレ・ドレスデン、ザクセン州立歌劇場合唱団、アンナ・ネトレブコ（シルヴァ/ソプラノ）ファン・ディエゴ・フロレス（エドウィン/テノール）クリスティーナ・ランズハマー（シュタージ/ソプラノ）パヴォル・プレスリク（ボニ/テノール）セバスティアン・ヴァルティヒ（フェリ/バリトン）ベルント・ツェティシュ（レオポルト・マリア伯爵/バリトン）ホルガー・シュタイネルト（キス/バス）[合唱指揮]ヴォルフラム・テツナー[収録]2014年12月28日ゼンパーオーバー（ドレスデン）[映像監督]ハンス・ロツサチャー ■字幕/約1時間38分
ネルソンス&ウィーン・フィル「ザルツブルク音楽祭2018開幕公演」	24,25,26,28,30	2018年ザルツブルク音楽祭のオーケストラの開幕を飾った公演。マーラーの『復活』と、ホーカン・ハーデンベルガーによるツィンマーマンの「トランペット協奏曲」。	[演目]ベルント・アロイス・ツィンマーマン：トランペット協奏曲八長調『誰も知らない私の悩み』、グスタフ・マーラー：交響曲第2番八短調『復活』[指揮]アンドリス・ネルソンス[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、バイエルン放送合唱団、ホーカン・ハーデンベルガー（トランペット）ルーシー・クロウ（ソプラノ）エカテリーナ・グバノヴァ（メゾ・ソプラノ）[合唱指揮]ハワード・アーマン[収録]2018年7月28日&29日ザルツブルク祝祭大劇場「ザルツブルク音楽祭2018」[映像監督]エリーザベト・マルツァー ■字幕/約1時間52分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ネルソンス&コンサートヘボウ「バルトークとショスタコーヴィチ」	9,10,11,14,15	アムステルダムコンサートホール「コンサートヘボウ」専属オーケストラとして1888年に発足したオランダの名門ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団。世界屈指の音響を誇るホールが作るピロートの弦、ふくよかな木管、黄金の金管という独特なサウンドを“目で聴く”番組。	[演目]バルトーク・ベラ：ヴァイオリン協奏曲第1番Sz.36、ジャン・シベリウス：水滴JS.216、ドミートリイ・ショスタコーヴィチ：交響曲第7番ハ長調Op.60『レニングラード』 [指揮]アンドリス・ネルソンス[演奏]ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、ジャニーヌ・ヤンセン（ヴァイオリン） グレゴール・ホルシュ（チェロ） [収録]2015年9月17日コンサートヘボウ（アムステルダム） [映像監督]ヨースト・ホンセラール ■約1時間54分
ネルソンス&ベルリン・フィル「ワーグナーとブルックナー」	5,7,8,9,10,11	ワーグナー最後の演目と、ワーグナーに捧げられたブルックナー作品で、ネルソンスがベルリン・フィルから緻密で穏やかな美演を引き出す。	[演目] リヒャルト・ワーグナー：3幕の舞台神聖祝典劇『パルジファル』より第1幕の前奏曲、第3幕より『聖金曜日の音楽』、アントン・ブルックナー：交響曲第3番ニ短調WAB.103（1889年版（第3稿）） [指揮] アンドリス・ネルソンス[演奏]ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録] 2016年4月29日フィルハーモニー（ベルリン） [映像監督] ミヒャエル・ペイヤー ■約1時間36分
バーンスタイン&ウィーン・フィル『ベートーヴェン：田園』	11,12,14,15,16,17,18	バーンスタインとウィーン・フィルとの不滅のベートーヴェン全集のなかでも特筆すべき、至高の『田園』。40年たった現在も色あせない、20世紀の音楽遺産。	[演目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：交響曲第6番 へ長調 Op.68『田園』 [指揮] レナード・バーンスタイン [管弦楽]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録] 1978年11月11日、ウィーン楽友協会大ホール（ライブ） 【録音ディレクター】 ジョン・マクレーア [映像監督] ハンフリー・パートン ■55分（番組枠）
バーンスタインのブラームス『ハイドンの主題による変奏曲』	3,11,22,25	バーンスタインがウィーン・フィルで行ったブラームス全集より。1870年当時ハイドン作とされていた楽曲を見たブラームスが、その曲のコラールのテーマを主題に用いた変奏曲。	[演目]ヨハネス・ブラームス：ハイドンの主題による変奏曲Op.56a[指揮]レナード・バーンスタイン[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団[収録]1972年ムジークフェラインザール（ウィーン） [映像監督]ハンフリー・パートン ■約23分
バップーノ&バイエルン放送響「バーンスタインとラフマニノフ」	1,3,6,16,21	現代のカリスマ指揮者バップーノの珍しいバイエルン放送響への客演。全集を録音したばかりのバーンスタインと、ロマンティックに歌うラフマニノフの2つの交響曲。	[演目]レナード・バーンスタイン：交響曲第2番『不安の時代』、セルゲイ・ラフマニノフ：6つの小品Op.11～第4曲「ワルツ」Op.11-4/交響曲第2番ホ短調Op.27[指揮]サー・アントニオ・バップーノ[演奏]バイエルン放送交響楽団、キリル・ゲルシュタイン（ピアノ） [収録]2018年6月15日フィルハーモニー（ガスタイク内、ミュンヘン） [映像監督]ハンス・ハドゥッラ ■1時間55分（番組枠）
バレンボイム&WEDO「BBCプロムス2015」	20	バレンボイムとウェスト=イースタン・ディヴァン・オーケストラがプロムス2015に登場。15人の小編成から大編成まで、熱気にあふれたパフォーマンスで聴衆を魅了した。	[演目]アルノルト・シェーンベルク：室内交響曲第1番ホ長調Op.9、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ピアノ、ヴァイオリンとチェロのための三重協奏曲ハ長調Op.56、ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー：交響曲第4番ヘ短調Op.36、ジャン・シベリウス：悲しきワルツOp.44-1、ミハイル・イヴァノヴィチ・グリンカ：歌劇『ルスランとリュドミラ』～序曲、マリアーノ・モーレス&ロドルフォ・M・タボアダ/ホセ・カルリ編曲：タンゴ『エル・フィルレーテ（安物飾り）』[指揮&ピアノ]ダニエル・バレンボイム[演奏]ウェスト=イースタン・ディヴァン・オーケストラ、ガイ・ブラウンシュタイン（ヴァイオリン） キアン・ソルタニ（チェロ） [収録]2015年8月18日ロイヤル・アルバート・ホール（ロンドン）「BBCプロムス44」[映像監督]ジョナサン・ハズウェル ■約2時間15分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
パレンボイム & WEDO2012『ベートーヴェン：田園』	25,26,28,29,30	ロンドン五輪開催に湧く2012年夏のプロムスに響く穏やかな『田園』。パレンボイムが音楽で架けた、イスラエルとパレスチナの共存の架け橋。	[曲目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：交響曲第6番 へ長調 Op.68『田園』 [指揮] ダニエル・パレンボイム [管弦楽] ウェスト=イースタン・ディヴァン管弦楽団 [収録] 2012年7月23日、ロンドン、ロイヤル・アルバート・ホール [映像監督] ジョナサン・ハズウェル ■ 50分 (番組枠)
パレンボイム & シュターツカペレ・ベルリン「BBCプロムス2017」	21	パレンボイムが手兵シュターツカペレ・ベルリンと共に英国音楽プログラムを引っ提げてプロムス2017に登場。エルガーの驚くべき名演で、ロンドンの聴衆を唸らせる。	[演目]ハリソン・パートウィスル：ディーブ・タイム<英国初演>、エドワード・エルガー：交響曲第2番変ホ長調Op.63/独創主題による変奏曲（エニグマ変奏曲）Op.36～第9変奏「ニムロッド」/行進曲『威風堂々』第1番二長調Op.39[指揮]ダニエル・パレンボイム[演奏]シュターツカペレ・ベルリン[収録]2017年7月16日ロイヤル・アルバート・ホール（ロンドン）「BBCプロムス4」[映像監督]ジョン・ウィリアムズ ■ 字幕/約1時間55分
ピエール・ブレーズ追悼コンサート2016 in パリ	11,14,15,16,17	2016年1月5日に90歳で亡くなったフランスを代表する作曲家ピエール・ブレーズを偲んで、巨匠が亡くなった3週間後の1月26日に行われた追悼コンサート。	[演目]ブレーズ：二重の影との対話[演奏]ジェローム・コント、アラン・ダミアン（クラリネット/アンサンブル・アンテルコンタンポランのソリスト）アンドリュー・ゲルツォ（エレクトロニクス/IRCAMフランス国立音響音楽研究所）[演目]ブレーズ：マルメによる即興 I [指揮]マティアス・ピンチャー[演奏]アンサンブル・アンテルコンタンポラン、イェリー・スー（ソプラノ） [演目]ブレーズ：メサジェスキス[演奏]エリック＝マリア・クチュリエ（チェロ）パリ管弦楽団とパリ音楽院のメンバー[演目]ブレーズ：デリーヴ I [指揮]ブルーノ・マントヴァーニ[演奏]パリ音楽院の学生たち[演目]ブレーズ：マルメによる即興 II [指揮]マティアス・ピンチャー[演奏]アンサンブル・アンテルコンタンポラン、イェリー・スー（ソプラノ）[演目]ブレーズ：オーケストラのためのノタシオンVII[指揮]パーヴォ・ヤルヴィ[演奏]パリ管弦楽団 [収録]2016年1月26日フィルハーモニー・ド・パリ[映像監督]ジャン＝ピエール・ロワジル ■ 字幕/約1時間11分
ファースト・ナイト・オブ・ザ・プロムス2019	14,15,16,17,18,19,20,27	ロンドンが誇るBBCプロムス初日に、ライジング・スター、カネラキスが登場！世界初演作が描き出す宇宙的空間、チェコ音楽による大地の響き	[演目]ゾーシャ・ディ・カストリ：Long is the Journey, Short is the Memory（BBC委嘱/世界初演）アントニン・ドヴォルザーク：交響詩『金の紡ぎ車』op.109、レオシュ・ヤナーチェク：『グラゴル・ミサ』（1928年最終稿） [指揮] カリーナ・カネラキス[演奏]BBC交響楽団及び同合唱団、アスミック・グリゴリアン（ソプラノ）、ジェニファー・ジョンストン（メゾソプラノ）、ラディスワフ・エルグル（テノール）、ヤン・マルチニーク（バス）、ピーター・ホルダー（オルガン）[合唱指揮] ニール・フェリス[収録] 2019年7月19日ロイヤル・アルバート・ホール(ロンドン)[映像監督]プリジット・コールドウェル ■ 約1時間33分
ブクステフーデの「夕べの音楽」	1,6	清澄で厳肅、幻想的な祈りに触れるひととき。バッハも尊敬した北ドイツの大家ブクステフーデの「夕べの音楽」を、ベルギーの精鋭古楽アンサンブルが再現。	[演目]ディートリヒ・ブクステフーデ：カンタータ『神よ、われを救いたまえ』BuxWV34/トリオ・ソナタ 短調BuxWV272～ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバと通奏低音のための/コラール『来たれと天使に告げよ』BuxWV10/コラール『イエスはわが喜び』BuxWV60/トリオ・ソナタ 二長調BuxWV267～ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバと通奏低音のための/コラール『心よりわれ汝を愛す、おお主よ』BuxWV41/トリオ・ソナタ 変ロ長調BuxWV255～ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバと通奏低音のための/シャコンヌ『イエスはわが生命の命』BuxWV62/コラール幻想曲『暁の星のいと美しきかな』BuxWV223[音楽監督]オリヴィエ・フォルタン（チェンバロ&オルガン）&リオネル・ムニエ（バス）[演奏]アンサンブル・マスク、ヴォックス・ルミニス[収録]2017年聖アウグスティン教会「AMUZ音楽センター」（アントワープ、ベルギー）[映像監督]パトリック・ラウゼ ■ 1時間45分（番組枠）
プッフピンダー & ウィーン・フィル『ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第1番』	5,10	ベートーヴェンがウィーンに居を移して間もない頃の初期のピアノ協奏曲。プッフピンダーがウィーン・フィルを弾き振りし、温かみのあるピアノとまろやかな音色のオーケストラの極上サウンドが必見。	[演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第1番八長調Op.15[ピアノ&指揮]ルドルフ・プッフピンダー[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団[収録]2011年5月5日～8日ムジークフェラインザール（ウィーン）[映像監督]カリーナ・ファイビツヒ ■ 約41分



番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ブッフピンダー & ウィーン・フィル『ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第2番』	19	その初演がベートーヴェンにとってウィーン・デビューとなったピアノ協奏曲第2番。ブッフピンダーがウィーン・フィルを弾き振りし、ムジークフェラインに響きわたる極上のアンサンブルが素晴らしい。	[演目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第2番変ロ長調Op.19 [ピアノ & 指揮] ルドルフ・ブッフピンダー [演奏] ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録] 2011年5月5日～8日 ムジークフェラインザール (ウィーン) [映像監督] カリーナ・フィビヒ ■ 約33分
ブッフピンダー & ウィーン・フィル『ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番』	11,19	初演では独奏ピアノ・パートが空白のまま、ピアノ独奏者であるベートーヴェンが即興で乗り切ったというエピソードが有名。ブッフピンダーがウィーン・フィルを弾き振りする姿は、まるでベートーヴェンのよう。	[演目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番ハ短調Op.37 [ピアノ & 指揮] ルドルフ・ブッフピンダー [演奏] ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録] 2011年5月5日～8日 ムジークフェラインザール (ウィーン) [映像監督] カリーナ・フィビヒ ■ 約40分
ブッフピンダー「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全集」Vol.6	6	ザルツブルク音楽祭の長い歴史の中で、2014年に初めて実現したベートーヴェン「ピアノ・ソナタ全曲演奏会」。7日間にわたって演奏したのは、「ウィーンの伝統を受け継ぐピアニスト」として知られるルドルフ・ブッフピンダー。	[演目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第11番変ロ長調Op.22 / 第20番ト長調Op.49-2 / 第8番ハ短調Op.13「悲愴」 / 第25番ト長調Op.79 / 第21番ハ長調Op.53「ワルトシュタイン」 [ピアノ] ルドルフ・ブッフピンダー [収録] 2014年8月19日 モーツァルテウム大ホール (ザルツブルク) 「ザルツブルク音楽祭2014」 [映像監督] フレデリック・ドレスク ■ 約1時間26分
プリティ・イエンデ「ブラハ・コンサート2014」	19,25	今注目のソプラノが初々しい2014年のコンサート。真骨頂のベルカントものからミュージカルまで多彩なプログラム。オーボエ共演はヴィレム・ヴェヴェルカ。	[演目] ルイーゼ・アルディーティ：口づけ、ヴァンチェンツォ・ベッリーニ：歌劇『夢遊病の女』～アミーナのアリア「ああ、彼が他の女性を～お花よ、こんなに早くおまえに会えるとは～ああ、この思いを乱さないで」、ガエターノ・ドニゼッティ：歌劇『ロベルト・デヴェリユ』～天使の心のように (オーボエ・ソロ)、ヴァンチェンツォ・ベッリーニ：歌劇『清教徒』～エルヴィーラのアリア「おお、私に希望を返して～ここであなたのお方の優しい声が～来て、愛しい人よ、空には月が」、フランツ・フォン・スッペ：喜歌劇『ウィーンの朝・昼・晩』～序曲、レオ・ドリーブ：カティスの娘たち、エンニオ・モリコーネ：映画『ミッション』～ガブリエルのテーマ (オーボエ・ソロ)、マヌエル・ニエト & ヘロニモ・ヒメネス：サルセラ『セビリアの理髪師』～「皆が私を別嬪と呼ぶ」、レナード・バーンスタイン：ミュージカル『ウェスト・サイド・ストーリー』～「マリア」 (オーボエ・ソロ) / マリアの歌「アイ・フィール・プリティ」、シャルル・フランソワ・グノー：歌劇『ロミオとジュリエット』～ジュリエットのアリア「私は夢に生きたい」、ガエターノ・ドニゼッティ：歌劇『シャモニーのリンダ』～リンダのアリア「ああ、遅すぎたわ～この心の光」 [指揮] クリストファー・フランクリン [演奏] ブラハ・フィルハーモニア、プリティ・イエンデ (ソプラノ) ヴィレム・ヴェヴェルカ (オーボエ) [収録] 2014年1月27日 ブラハ市民会館「スメタナホール」 [映像監督] トマーシュ・シメルダ ■ 字幕 / 約1時間18分
フローレス「ザルツブルク・リサイタル2015」	26,28,29,30	イタリアとフランスの歌曲とオペラ・アリアを組み合わせ、アンコールではギターを弾きながらスペイン語の流行歌も歌い、フローレス最大の魅力である力強く輝かしい高音と明るく伸びやかな歌声だけでなく、その茶目っ気たっぷりのエンターテインメントもたっぷり楽しめる内容です。	[演目] ルッジェーロ・レオンカヴァッロ：四月 / おいで、愛する人 / マッティナータ (朝の歌)、フランチェスコ・パオロ・トスティ：魅惑 / 暁は光から / マレキアーレ、ジョアキーノ・ロッシーニ：歌劇『イタリアのトルコ人』～ドン・ナルチーゾのレチタティーヴォとアリア「聞いた、ああ！ 全部聞いたぞ…私の計画を助けてください」、ガエターノ・ドニゼッティ：歌劇『ルクレチア・ボルジア』～ジェンナーロのレチタティーヴォとアリア「私はここを去らねばならぬ…私はあなたを愛しています、人が天使を愛するように」、アンリ・デュバルク：悲しき歌 / フィデレ / 旅への誘い / ローズモンドの館、シャルル・フランソワ・グノー：歌劇『ファウスト』～ファウストのアリア「この清らかな住まい」、ガエターノ・ドニゼッティ：歌劇『ランメルモールのルチア』～エドガルドのアリア「わが祖先の墓よ…やがてこの世に別れを告げよう」、コンスエロ・バラスケス：ベサメ・ムーチョ、ペドロ・ガリンド・ガラルサ / エルビディオ・ラミレス・ブルゴス：マラゲーニャ・サレロー・サ、アグスティン・ララ：グラナダ、ガエターノ・ドニゼッティ：歌劇『連隊の娘』～トニオのアリア「ああ、友よ…僕にとっては何という幸運」 [テノール] ファン・ディエゴ・フローレス [ピアノ] ヴァンチェンツォ・スカレーラ [収録] 2015年8月3日 ザルツブルク祝祭大劇場 (ザルツブルク) 「ザルツブルク音楽祭2015」 [映像監督] ティツィアーノ・マンチーニ ■ 字幕 / 約1時間29分
ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲第7番変ロ長調『大公』	12,14,15,16,17,18	堂々とした気品と優雅さを併せ持ち、ルドルフ大公に献呈されたため『大公』と通称される名曲。冬のザルツブルク音楽祭「モーツァルト週間」でのウィーン・ピアノ三重奏団による演奏。	[演目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲第7番変ロ長調Op.97『大公』 [演奏] ウィーン・ピアノ三重奏団 [収録] 1999年1月 モーツァルテウム大ホール (ザルツブルク) 「モーツァルト週間1999」 ■ 約44分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ベートーヴェンのモーツァルト『メヌエット K.409』	3,4,7,8 ,9,15,1 8,21	カール・ベームとウィーン・フィルの黄金コンビによるモーツァルト交響曲映像より、交響曲第34番の第3楽章として演奏されたとアインシュタインが推測したメヌエット。	[演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：メヌエット 八長調K.409 (383f) [指揮]カール・ベーム[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録]1974年11月12日～14日ムジークフェラインザール（ウィーン）[映像監督]フーゴー・ケヒ ■約10分
ベルチャ四重奏団『ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第13番』	1,2,6	新時代を疾走する弦楽四重奏団として、今世界的に最も注目されるベルチャ四重奏団は、ルーマニア人の女性ヴァイオリニスト、コリーナ・ベルチャとポーランド人男性ヴィオラ奏者、クシシュトフ・ホジェルスキーを中心に、1994年英国王立音楽大学で結成。	[演目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第13番変ロ長調Op.130 [演奏]コリーナ・ベルチャ（第1ヴァイオリン） アクセル・シャハー（第2ヴァイオリン） クシシュトフ・ホジェルスキー（ヴィオラ） アントワーン・レデルラン（チェロ） [収録]2012年5月2日、ウィーン・コンツェルトハウス[映像監督]フレデリック・デレク ■約40分
マイスキのバッハ『無伴奏チェロ組曲第5番』	2,4,7,1 9,27	世界中で圧倒的な人気を誇るチェリスト、ミッシェル・マイスキ38歳の、彼にとつては唯一のバッハ『無伴奏チェロ組曲』映像がHDで蘇った。	[演目]ヨハン・セバスティアン・バッハ：無伴奏チェロ組曲第5番八短調BWV.1011[チェロ]ミッシェル・マイスキ[収録]1986年10月～11月ヴィラ・カルドローニョ・ナルデラ（イタリア）[映像監督]ハンフリー・バートン&ホラント・H・ホルフェルト ■約30分
ヤルヴィ&ドイツ・カンマーフィル「ブラームス：交響曲第4番」	1,2,3,6	2018年4月にシャンゼリゼ劇場で行われたばかりの、パーヴォ・ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルによるブラームス交響曲ツィクルスから、熱き第4番の名演を！	[演目]ヨハネス・ブラームス：交響曲第4番ホ短調Op.98[指揮]パーヴォ・ヤルヴィ[演奏]ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団[収録]2018年4月5日シャンゼリゼ劇場（パリ）[映像監督]ジャン＝ピエール・ロワジル ■約45分
ヤルヴィのシューマン『交響曲第4番』	1,12,14 ,28	今をときめくパーヴォ・ヤルヴィと手兵ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団が地元プレーメンのライブハウス「PIER2（ビール2）」で行った「シューマン交響曲全集」のライブ映像。	[演目]ロベルト・アレクサンダー・シューマン：交響曲第4番ニ短調Op.120 [指揮]パーヴォ・ヤルヴィ[演奏]ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団 [収録]2012年ビール2（プレーメン）[映像監督]クリスティアン・ベルガー ■約35分
ヤルヴィのベートーヴェン『運命』	1,2,3,4 ,6	2009年ベートーヴェン音楽祭で話題を集めたヤルヴィとドイツ・カンマーフィルのベートーヴェン交響曲全曲演奏会より、音楽史上最も有名な交響曲第5番。	[演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：交響曲第5番八短調Op.67『運命』[指揮]パーヴォ・ヤルヴィ[演奏]ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団 [収録]2009年9月10日ベートーヴェンハレ（ボン）「ベートーヴェンフェスト・ボン」[映像監督]クリスティアン・クルト・ワイズ ■約36分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ヤンソンズ&ベルリン・フィル2015「ツインマーマンを迎えて」	16,17,18,21,22	2019年11月に亡くなったヤンソンズ、2015年ベルリン・フィル定期での20世紀作品集でその温かい指揮ぶりを偲ぶ。ツインマーマンの名技が光るショスタコーヴィチも。	<p>[演目]            バルトーク・ペラ：弦楽器、打楽器とチェレスタのための音楽Sz.106            ドミートリイ・ショスタコーヴィチ：ヴァイオリン協奏曲第2番嬰八短調Op.129            J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第2番イ短調BWV1003よりアレグロ            モーリス・ラヴェル：バレエ『ダフニスとクロエ』第2組曲</p> <p>[指揮] マリス・ヤンソンズ[演奏] ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、フランク・ペーター・ツインマーマン（ヴァイオリン）            [収録] 2015年5月 フィルハーモニー（ベルリン）[映像監督]ミハエル・ペイヤー            ■約1時間43分</p>
ラヴェル：バレエ『ダフニスとクロエ』第2組曲	6,17,28,29,30		<p>[演目]モーリス・ラヴェル：バレエ『ダフニスとクロエ』第2組曲            [指揮&amp;映像監督]ヘルベルト・フォン・カラヤン[演奏]ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団            [収録]1978年2月フィルハーモニー（ベルリン）            ■約18分</p>
ロシアニ・オペラ・フェスティバル40周年ガラ・コンサート	1,2,3,4,5,12,13	フローレスらロシアニ歌いが勢揃い！ ロッシーニ研究と実践の最前線、ベーザロのロシアニ・オペラ・フェスティバルが開催40周年を記念するガラ・コンサート	<p>[出演]            ヴァレリア・ジラルデッロ（メゾ・ソプラノ） アンナ・ゴリャチョワ（メゾ・ソプラノ） アンジェラ・ミード（ソプラノ） クラウディア・ムスキーオ（ソプラノ） ニコラ・アライモ（バリトン） パオロ・ポルドーニャ（バス・バリトン） ローレンス・ブラウンリー（テノール） カルロ・チーニ（バス） ルジル・ガティン（テノール） ミケーレ・ベルトウージ（バス） フランコ・ヴァッサッロ（バリトン）</p> <p>[指揮] カルロ・リッツィ [管弦楽] RAI国立交響楽団 [合唱] ヴェンティーディオ・パッソ劇場合唱団（合唱指揮＝ジョヴァンニ・ファリーナ）</p> <p>[曲目]            ジョアキーノ・ロッシーニ：『セビリアの理髪師』より序曲            フィガロのアリア「町の何でも屋に」（ヴァッサッロ） バルトロのアリア「私のような偉い医者に向かって」（ポルドーニャ）            伯爵のアリア「もう逆らうのをやめろ」（ブラウンリー）            『ランスへの旅』よりメリベア侯爵夫人とリーベンスコフ伯爵のシェーナと二重唱「私にどんな咎がありまして？…気高き魂を、おお神よ！」（ゴリャチョワ&amp;ガティン）            『チェネントラ』よりドン・マニーフィコのアリア「娘のうちのどちらでも」（アライモ） ドン・ラミーロのアリア「そう、誓って彼女を見つけ出す」（フローレス）            『アルジェのイタリア女』より第1幕フィナーレ「殿様、離別の旅立ちに先だって」（ジラルデッロ、ゴリャチョワ、ムスキーオ、ポルドーニャ、ブラウンリー、チーニ、ベルトウージ）            『エルミオーネ』よりエルミオーネの大シェーナ「彼女が勝利するなんて！…」（ミード、ムスキーオ、チーニ、ガティン）            『ギョーム・テル』より序曲 アルノールとテルの二重唱「どこに行く？ 何がお前を動揺させるのだ？」（フローレス&amp;ベルトウージ）            テルのアリア「動くな、膝を地につけて」（ヴァッサッロ） アルノールのアリア「先祖より受け継いだ住処よ」（フローレス）            第4幕フィナーレ「すべては変わり、空が晴れ渡る」（ジラルデッロ、ミード、ムスキーオ、チーニ、フローレス、ベルトウージ）</p> <p>[収録] 2019年8月21日、ベーザロ、ヴィトリフリーゴ・アレーナ（ロシアニ音楽祭ライブ） [映像監督] ダヴィデ・マンチーニ</p>
BBCプロムス2015「アンドラーシュ・シフのゴルトベルク変奏曲」	20	ピアノの巨匠アンドラーシュ・シフが挑む、J.S.バッハの最高傑作「ゴルトベルク変奏曲」との一本勝負。プロムスの感動のライブをじっくりと。	<p>[演目]ヨハン・セバスティアン・バッハ：ゴルトベルク変奏曲BWV.988[ピアノ]アンドラーシュ・シフ（ピアノ） [収録]2015年8月22日ロイヤル・アルバート・ホール（ロンドン）「PROM 50」[映像監督]マシュー・ウッドワード            ■約1時間20分</p>

ドキュメンタリー&エンターテイメント

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
アーノンクールが語る『ブランデンブルク協奏曲第4番』	11,14,15,16,17	20世紀の古楽運動の主導者としてクラシック音楽界に革命をもたらし、2016年3月に86歳で亡くなったニコラウス・アーノンクールと手兵ウィーン・コンツェントゥス・ムジクスが1982年に映像収録したJ・S・バッハの傑作『ブランデンブルク協奏曲』を、アーノンクール自身が解説。	[出演]ニコラウス・アーノンクール [収録]1982年ヴィ布林ゲン修道院図書館ホール（ウルム、ドイツ） [監督]クラウス・リンデマン[制作]1983年 ■字幕/約14分
ウェスト=イースタン・ディヴァン・オーケストラ in ザルツブルク音楽祭2007	1,2,3	2007年ザルツブルク音楽祭で大きな話題を呼んだのが、イスラエルとアラブの若者で構成されるウェスト=イースタン・ディヴァン・オーケストラ（WEDO）の初参加でした。	[出演]ダニエル・バレンボイム、ウェスト=イースタン・ディヴァン・オーケストラ、ピエール・ブーレーズ、ロビン・ティチャージェイ、ユルゲン・フリム、マルクス・ヒンターホイザー、パトリス・シェロー、クレメンス・ヘルスベルク[監督]クリスティアン・クルト・ヴァイス[制作]2007年 ■字幕/約56分
ティーレマンと語るベートーヴェン『田園』	15,16,17,18,19,20,21,22,27	音楽評論家ヨアヒム・カイザー（1928～2017）が、指揮者クリスティアン・ティーレマンと共に、ベートーヴェン『田園』の特徴とティーレマンの解釈を討論する。	[出演]ヨアヒム・カイザー（音楽評論家）クリスティアン・ティーレマン（指揮者） [演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：交響曲第6番ヘ長調Op.68『田園』[監督]クリストフ・エンゲル[制作]2010年 ■字幕/約1時間
ドキュメンタリー「マティアス・ゲルネの冬の旅」	4,7,12,14,23,24,25	エクサンプロヴァンス音楽祭2014公演及びリハーサル映像を挿入しながら、ドイツ・リートに新たな地平を拓くゲルネとヒンターホイザー、ケントリッジの挑戦を綴る。	[出演]マティアス・ゲルネ（バリトン） マルクス・ヒンターホイザー（ピアノ） ウィリアム・ケントリッジ（ビデオ&コンセプト） [演目]フランツ・ペーター・シュベルト：歌曲集『冬の旅』D.911, Op.89より [映像監督]クリスティアン・レプラー[制作]2014年 ■字幕/約54分
ブッフビンダー「ベートーヴェンのピアノ協奏曲を語る」	5,20,29	ウィーンの名ピアニスト、ブッフビンダーが、ベートーヴェンのピアノ協奏曲について大いに語る。巨匠の音楽観、演奏解釈法が垣間見られる稀少な映像。	[出演]ルドルフ・ブッフビンダー、ヨアヒム・カイザー[監督]クリストフ・エンゲル[制作]2011年 ■字幕/約30分
ヘルベルト・フォン・カラヤン～その目指した美の世界～	4,7,8,9,10	カラヤン生誕100周年を記念して、アカデミー賞ノミネート監督のロバート・ドーンヘルムが“帝王”カラヤンの知られざる人生と芸術に迫るドキュメンタリー。	[出演]ヘルベルト・フォン・カラヤン、アンネ・ソフィー・ムター、小澤征爾、クリスティアン・ティーレマン、サー・サイモン・ラトル、ルネ・コロ、クリスタ・ルートヴィヒ、ブリギッテ・ファスベンダー、ブラジド・ドミンゴ、グンドウラ・ヤノヴィッツ、エリーザベト・シュヴァルツコップ、マリス・ヤンソンス、サー・ゲオルグ・ショルティ、ヨアヒム・カイザー、ヘルムート・シュミット、エフゲニー・キーンシン[監督]ロバート・ドーンヘルム[制作]2007年 ■字幕/約1時間32分
ポートレート『エディタ・グルベローヴァ』	5,13,22,25,26	圧倒的な美声と驚異的な歌唱技巧を併せ持ったソプラノの女王エディタ・グルベローヴァのドキュメンタリー。	[出演]エディタ・グルベローヴァ（ソプラノ歌手）ブリギッテ・ファスベンダー（元メゾ・ソプラノ歌手/チロル州立歌劇場総裁）ヨアヒム・カイザー（音楽評論家）ニコラウス・アーノンクール（指揮者）メラニー・クシュニコワ（友人）ゲルミナル・ヒルベルト（エージェント）ペーター・ヴェヒター（ウィーン国立歌劇場管弦楽団ヴァイオリニスト）ヴォルフガング・シュルツ（ウィーン国立歌劇場フルーティスト）エリーナ・ガランチャ（メゾ・ソプラノ歌手）サー・ペーター・ヨナス（バイエルン州立歌劇場総裁） [監督]クラウス・ヴィッシュマン&ステファン・パンネン [制作]2008年 ■字幕/約1時間22分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
メイキング「ムラド・メルズキのピクセル」	18,23,24	ヒップホップというジャンルを越えてフランスのダンスシーンをリードするメルズキとカンパニー・カフィグ。ダンスとデジタルアートを融合させた話題作『ピクセル』の舞台裏に迫る。	[出演]ムラド・メルズキ (アーティストック・ディレクター & 振付) アドリアン・モンドー & クレール・バルデンヌ (デジタルアート) ヤン・ティヴェオリ (照明) パスカール・ロバン (衣装) カンパニー・カフィグのダンサーたち [映像監督]モハメド・アタムナ [制作]2015年 ■字幕/約33分
巨匠たちのパイロイト・リハーサル	25,28,29,30	ヴィーラント・ワーグナー、ハンス・クナーバッツブッシュ、アンドレ・クリュイタンス、カール・ベームやオトマール・スウィトナーなど1960年代パイロイト音楽祭のリハーサル風景。	[出演]ヴィーラント・ワーグナー、ハンス・クナーバッツブッシュ、アンドレ・クリュイタンス、カール・ベーム、オトマール・スウィトナー、ヴィルヘルム・ピッツ 他 [監督]ヴェルナー・リュエティエ [制作]2001年 ■字幕/約1時間
ザルツブルク音楽祭2013『イエーダーマン』	5,7,8,9,10,11,12	1920年の第1回から、脈々と上演されてきた、ザルツブルク音楽祭の「原点」。大聖堂前の野外特設ステージで上演される、ホーフマンスタールの道徳劇。	[出演]コルネリウス・オボニヤ (イエーダーマン) フリギッテ・ホブマイヤー (情婦) ベーター・ローマイヤー (死) サイモン・シュヴァルツ (悪魔) ユルゲン・タラハ (マモン(金の神)) サラ・ヴィクトーリア・フリック (善行) ハンス・ベーター・ハルヴァクス (信仰) コリア・グシュニツァー (イエーダーマンの母) パトリック・ギェルデンベルク (イエーダーマンの親友) ハンネス・フラシュベルガー (太った従兄弟) シュテファン・クライス (痩せた従兄弟) フリッツ・エッガー (債務者) カタリナ・シュテムベルガー (債務者の妻) ヨハネス・シルバーシュナイダー (貧しい隣人) ジクリット・マリア・シュニユッケル (料理人) フローレンティナ・ルツカー (神) [演目]フーゴ・フォン・ホーフマンスタール『イエーダーマン〜ある裕福な男の死』[演出]ジュリアン・クラウチ & ブライアン・メルテス [装置・仮面・人形]ジュリアン・クラウチ [衣装]オリヴェーラ・ガイッチ [音楽監督 & 編曲]マルティン・ロウ [ドラマトルク]デイヴィッド・タッシンガム [振付]ジェシー・J・ベレス [照明]ダン・スカリー [音響]マット・マッケンジー [収録]2013年7月ザルツブルク大聖堂広場特設ステージ [映像監督]アンドレ・トゥルンハイム ■字幕/約2時間7分